



法政大学通信教育部

2025年度 入学要項

法学部
法律学科

文学部
日本文学科／史学科／地理学科

経済学部
経済学科／商業学科

目 次

通信教育部 Web サイト 大学・制度紹介記事.....1	・推奨環境
出願から学習開始まで.....3	・システム利用手数料
募集要項.....5	本科生.....15
1. 出願期間.....5	1. 入学資格および提出書類、修業年限・在学年限、単位認定、 入学諸経費.....15
2. 募集人員.....5	1 年次入学.....15
3. 出願書類の郵送先・お問い合わせ先.....6	2 年次編入学.....17
4. 学生納付金の返還.....7	3 年次編入学.....19
5. 事前相談を要する方.....8	4 年次編入学.....21
・海外の学校卒業（または退学）を入学資格として出願を 希望する方	2. 入学後の諸経費（本科生）.....22
・障がいもしくは疾病があり、合理的配慮を希望する方	復籍・再入学／再度の入学.....23
・障がい・疾病に関する事前相談 Q & A	1. 復籍・再入学とは
6. 出願に関する注意事項.....11	2. 再度の入学とは
・海外に在住の方	3. 復籍・再入学／再度の入学の共通事項
・外国籍の方	4. 提出書類
・以前に本学に在籍していた方	5. 入学諸経費
7. インターネット出願の手順.....12	科目等履修生.....25
・はじめに	選科生.....25
・事前にご準備いただく情報	教職生.....28
・インターネット出願の手順	交通のご案内／市ヶ谷キャンパス MAP.....34

出願および入学後のインターネット利用と PC の利用について

法政大学通信教育部では「Web 学習サービス」をはじめ、大学が付与する ID を必須とするシステムを学習および大学からのお知らせ・各種手続き手段として運用しています。郵便制度を利用した「通信学習」や教室で開講する形式の「スクーリング」を中心に学びたい場合においても、インターネットを一切利用せずに学習を継続することは、緊急を要する情報の収集・手続きにおいて学生本人の不利益をもたらす可能性があります。また「Web 学習サービス」の利用やインターネットを利用するスクーリングにおいては、スマートフォンではなく PC での閲覧を推奨環境としています。推奨環境外の機器を使用することによる不利益については、大学は一切の責を負いません。

推奨環境については、法政大学通信教育部 Web サイト「メディアスクーリング」の PC 利用環境を参考にしてください。ご出願にあたっては、インターネット出願に対応できる環境をご準備のうえ、ご検討願います。

通信教育部 Web サイト 大学・制度紹介記事

この『入学要項』では、出願手続きおよび必要書類に関する内容を掲載しています。

出願手続きの前に、法政大学通信教育部 Web サイトをご覧ください、法政大学通信教育部の制度・カリキュラムをご理解のうえ、出願願います。

またインターネット出願についても、通信教育部 Web サイトに出願ページへのリンクを掲載します。

大学・制度紹介記事 まとめページ

法政大学通信教育部 Web サイトでは項目別に本学の内容をご説明しておりますが、Web サイト内「トピックス」では、概要とリンクを順番にまとめております。こちらを順番にご覧いただくことで、本学の概要・各種制度をご理解いただける内容となっております。

<https://www.tsukyo.hosei.ac.jp/topics>
法政大学通信教育部 大学・制度紹介記事 まとめページ



教職課程(教職課程の履修を予定している方は、必ずお読みください)

本学で取得できる教員免許状の種類と教科についての詳細です(PDF形式)。

【重要】

法政大学通信教育部で教員免許状の取得を目指す場合は、リンク先の詳細を熟読のうえ、内容を理解したうえで必要な書類を揃え、出願してください。

リンク先では、必要な情報を冊子形式の PDF データでまとめています。

なお、科目等履修生(教職生)としての出願は、前期第 1 回～3 回、後期第 1 回～2 回での出願が可能です。各期最終回の前期第 4 回、後期第 3 回での出願はできません。

<https://www.tsukyo.hosei.ac.jp/common/doc/faculty/teacher-training/guide.pdf>



開講科目一覧

「法政大学通信教育部 大学・制度紹介記事 まとめページ」でも紹介していますが、各学科の開講科目一覧は、「学科紹介」ページ「履修科目」に掲載しています(PDF形式)。

※本学は基本的にオンラインのみで卒業可能なカリキュラムとなっておりません。

<https://www.tsukyo.hosei.ac.jp/faculty/>



法学部法律学科 https://www.tsukyo.hosei.ac.jp/faculty/law/	文学部日本文学科 https://www.tsukyo.hosei.ac.jp/faculty/japanese-literature/
文学部史学科 https://www.tsukyo.hosei.ac.jp/faculty/history/	文学部地理学科 https://www.tsukyo.hosei.ac.jp/faculty/geography/
経済学部経済学科 https://www.tsukyo.hosei.ac.jp/faculty/economics/	経済学部商業学科 https://www.tsukyo.hosei.ac.jp/faculty/business/

取得できる資格

法政大学通信教育部で取得できる資格を紹介しています。

【重要】

図書館司書、図書館司書教諭、社会教育主事資格をご検討中の方は、以下の点にご注意ください。

- ・受講対象は本科生 3・4 年次で、入学年度は受講できません。
- ・授業は、基本的に月～土曜の日中に市ヶ谷キャンパスで行われます。そのため年間を通して月～土曜の日中に市ヶ谷キャンパスに通学できることが受講の前提となります(通信学習や夏期スクーリングなどの集中授業は開講していません)。

<https://www.tsukyo.hosei.ac.jp/faculty/license/>



入学要項・学費について

この『入学要項』冊子でご紹介している内容および、修業年限、通学課程への転籍に関する情報などご紹介しています。『入学要項』冊子に同封されている提出書類書式 PDF データも以下のページに掲載しています。

<https://www.tsukyo.hosei.ac.jp/admission/>



出願から学習開始まで

ご出願にあたっては、この入学要項の記載内容をよくご確認のうえお手続きください。

本科生

* 法政大学通学課程に在籍中の方は、転籍要項をご覧ください。

高等学校卒業（見込）の方
高卒認定合格（見込）の方
など
→ 1 年次入学
P.15～16

他大学を中途退学（予定）の方
→ 1 ～ 3 年次入学
P.15～20

法政大学通学課程を中途退学した方
→ 1 ～ 4 年次入学
P.15～21

短期大学卒業（見込）の方
法政大学を卒業（見込）の方
他大学を卒業（見込）の方
高専卒業（見込）の方
専門学校修了（見込）の方
高等学校等専攻科修了（見込）の方
など
→ 3 年次編入
P.19～20

教職課程履修希望者で、P.28「入学コース」の「本科生」に該当する方
→ 該当する入学年次へ

資格課程
・図書館司書 ・学校図書館司書教諭
・社会教育主事 の資格取得を目指す方は本科生として入学します。

法政大学通信教育部を退学・除籍された方
→ 復籍・再入学 / 再度の入学 P.23～24
※ただし「修業」の見込みがないと認められる者として退学処分になった方は、1 年次入学または 2・3 年次編入学（P.15～20）

科目等履修生（教職生）

教職課程履修希望者で、P.28「入学コース」の「科目等履修生」に該当する方

科目等履修生（選科生）

教員免許状取得以外の目的で科目を選択し学習したい方

① 募集要項、入学資格等の確認

- 出願期間などの確認（P.3～11）
- 入学資格の確認（P.15～21）

「海外の学校卒業（または退学）を入学資格として出願を希望する方」

「障がいもしくは疾病があり合理的配慮を希望する方」

- ご出願前に P.8～11 の事前相談の手続きを受けてください（必須）。
- ※出願は本学からの回答書受領後に可能です。

「海外に在住の方」

「外国籍の方」

「以前に本学に在籍していた方」

- P.11 記載の注意事項をご確認ください。

② 出願書類の準備 ※出願書類の記入事項は必ず万年筆またはボールペンで記入すること。インクが消えるペンなどは不可。

- 写真1枚を用意
- 「学歴・学習歴」の記入
- 「職務経歴書」の記入
- 志願書2に記入（自筆のみ）
- 科目等履修生のみ、科目登録票の記入
- 誓約書・写真台紙の記入（事前に「学則」「個人情報の保護（プライバシーポリシー）」「個人情報の取り扱いについて」を確認のうえ、本人の署名・捺印・日付の記入をしてください）
- 出身校などからの必要書類の取り寄せ（コピー不可）証明書は、原本のみ提出です。（有効期間注意）
- 住民票（または戸籍抄本）の取得（コピー・塗りつぶし不可）※マイナンバー非表示（出願日3カ月以内）
※外国籍の方は、国籍およびローマ字表記された氏名、在留資格、期間が記載されたものを取得してください。記載が省略されたものは不可です。
- その他必要書類の取得（各種証明書類はコピー不可） など

③インターネット出願システムの入力・入学諸経費の支払い

□P.12～14を確認のうえ、インターネット上から必要事項を入力し、入学諸経費の支払いを行ってください。

④出願書類の郵送

□必要に応じコピーしたうえで、出力されたラベルを貼った封筒で原本を簡易書留で郵送。到着日がわかるようにご自身でも書留の番号を控えてください。到着確認は、郵便局のサイトからご自身で行ってください。

- ※電話やメールでの書類到着確認はご遠慮ください。
- ※通信教育部の窓口を持参し提出することはできません(郵送のみ)。
- ※一度提出された書類は、入学許可・不許可にかかわらず返却したり開示したりすることはできません。

⑤選考

- ・出願書類に基づいて選考します。
- ・必要に応じて面接を行う場合があります。

「卒業見込」「退学見込」で出願した方は、卒業もしくは退学後に「見込」の記載がない証明書を新たに取得し、再度提出してください。

※出願書類に不備がある場合は選考の対象になりません。不備の際には電話またはメールで連絡しますので、出願期間中は必ず日中(9:00～17:00)に連絡がとれるようにしておいてください。

⑥入学許可・不許可通知を受領する

・P.5の入学許可・不許可通知発送日に、志願書1に記載されている住所へ「レターパック」にて発送予定です。

入学が許可された方

- ・「入学許可通知書」には、学生証番号を掲載しています。
- ・大学の情報システム利用のためのID、初期パスワード、大学のメールアドレスの通知を同封します。
- ・入学直後のスクーリング受講申請について、案内文書が同封されています。
- ・単位認定がある方は、単位認定結果を反映した「履修・成績通知書」も送付されます。

入学不許可となった方

・P.7「4. 学生納付金の返還」のとおり、選考料を除く入学諸経費の返金をします。

※入学不許可理由の問合せには応じられません。

⑦学習開始

- ・教材・補助教材はP.5の補助教材等到着日を目安に、宅配便にて発送予定です。
- ・補助教材『学習のしおり』に目を通し、学習の計画を立ててください。

テキストは本学が発行するテキスト(通教テキスト)のみ送付します。レポートノートは入学年次に応じて一定数送付します。市販本(指定市販本)や申告制通教テキストが指定されている科目を学習する場合は、補助教材の案内にそれぞれ各自で入手する必要があります。

通信学習レポート提出方法

通信学習レポート設題・テキスト一覧

単位修得試験の受験方法

スクーリング案内 など

【補助教材】

『通信学習設題総覧』
(入学時および毎年3月に送付)

『学習のしおり』
(入学時および毎年3月に送付)

『法政通信』
(入学時および年9回送付)

※入学辞退届提出期限(P.6)以降の入学年度内の半期までに退学する場合でも、納入された教育費は返金いたしません。

個人情報取り扱い

- ・法政大学通信教育部では個人情報の管理などについては、「法政大学個人情報保護規程」に基づき適切に取り扱います。
- ・出願にあたってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報は、法政大学各部門において下記業務を行うために利用します。

- (1) 入学選考および可否の連絡
- (2) 入学手続き
- (3) 学事に関する管理、連絡、および手続き
- (4) 学生生活全般に関する管理、連絡、および手続き
- (5) 大学内に関する管理、連絡、および手続き
- (6) 本人および保証人宛に送付する各種書類の発送、およびその他の連絡
- (7) 上記(1)～(6)に付随する業務

上記の業務は、その一部を法政大学通信教育部が当該業務を委託した業者(以下、「受託業者」といいます。)により行います。業務委託にあたり、受託業者に対して委託業務遂行の目的で、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがあります。なお、委託契約書には「守秘義務条項」を盛り込んでおり、厳正に対処いたします。あらかじめご了承ください。

募集要項

1. 出願期間

入学時期	就学コース	出願回	科目等履修生出願可否	インターネット出願入力受付期間(最終日 17時まで)	出願書類郵送締切(必着)	入学許可不許可通知・履修成績通知・学生証発送日	補助教材等到着日(予定)
4月1日入学 (前期生) ※1	本科生・復籍再入学・再度の入学・通学課程からの転籍(第2回より)・科目等履修生(第3回まで)	第1回	○	2月3日(月)~2月13日(木)	2月18日(火)	3月17日(月)	3月22日(土)
		第2回	○	3月5日(水)~3月13日(木)	3月18日(火)	4月11日(金)	4月16日(水)
		第3回	○	4月4日(金)~4月10日(木)	4月15日(火)	5月16日(金)	5月22日(木)
		第4回	×	5月7日(水)~5月12日(月)	5月16日(金)	6月10日(火)	6月16日(月)
10月1日入学 (後期生) ※2	本科生・復籍再入学・再度の入学・通学課程からの転籍(第2回より)・科目等履修生(第2回まで)	第1回	○	8月4日(月)~8月21日(木)	8月26日(火)	9月17日(水)	9月22日(月)
		第2回	○	9月3日(水)~9月11日(木)	9月17日(水)	10月15日(水)	10月18日(土)
		第3回	×	10月3日(金)~10月9日(木)	10月15日(水)	11月12日(水)	11月15日(土)

- ※1 前期生は4月1日付入学となります。入学許可通知日が4月1日以降となった場合でも、4月1日に遡及して在籍することになります。
- ※2 後期生は10月1日付入学となります。入学許可通知日が10月1日以降となった場合でも、10月1日に遡及して在籍することになります。
- ※3 出願書類に不備がある場合は、出願回での選考ができないため、不備が解消された日付が含まれる出願期間で受け付けます。ただし、前期から後期への変更や、次年度への変更はできません。

<注意事項>

- ・同じ学科への出願は、4月入学・10月入学各1回のみとなります。
- ・入学許可時にスクーリング履修申請する場合は、在学生とは異なる日程でWeb学習サービスからのみ受け付けます。申請の詳細は入学許可通知に同封します。入学許可通知発送後、短期間での申請受付となりますので、ご注意ください。また、許可通知の受け取り日、在学生の履修申請状況、出願時期や抽選および社会情勢などにより、履修申請ができないことがありますのでご了承ください。
- ※特に、実験・実習科目や教職関係科目、体育・外国語科目については、例年在学生の履修申請で定員が充足する傾向があります。そのため、入学許可時におけるスクーリングの履修申請ができない可能性が高いのでご了承ください。
- ・出願時期が遅くなるほど、補助教材等到着日が遅くなります。また、入学初年度のスクーリング受講や単位修得試験の受験機会が減少します。特に前期第4回入学者、後期第3回入学者は、入学期に受験可能な単位修得試験が0~1回となりますので、なるべく早い回での出願をお勧めします。
- ・2025年度のレポート提出締切日、単位修得試験登録締切日は通信教育部 Web サイト『2025年度年間学習スケジュール』を参照してください。

<二重学籍の禁止>

- ・卒業または退学見込みで出願できるのは、卒業日または退学日までとなり、それ以降は「見込」の証明書ではご出願いただけません。出身校の事情により、「見込」でない証明書の提出が難しい場合は、出願前にお問い合わせください。
- ・本科生に入学を希望される場合、学校教育法に定める短期大学・専修学校の専門課程・専門学校・大学・大学院にすでに在籍中の方は、本学に同時に在籍することはできません。出願時に卒業または退学予定の方は、本学入学日付(4月1日もしくは10月1日)より前の日付で、現在在籍中の学校を卒業または退学となる許可を得ていることが出願の条件になります。退学予定の方や退学している方は、退学または在籍期間証明書、離籍証明書の提出が必要ですので、ご自身で出身校にご確認ください。

2. 募集人員

募集人員は前期生・後期生を合わせたものです。

就学コース	入学年次	学部	学科	募集人員
本科生	1年次入学生	法学部	法律学科	3,000名
			日本文学科	
		文学部	史学科	3,000名
			地理学科	
	経済学部	経済学科	3,000名	
商業学科				
	2・3・4年次編入学生	各学部の定員内		
科目等履修生		選科生・教職生		若干名

入学初年度のスクーリング履修申請は必須ではありません。ご自身の学習計画に則り履修申請を行ってください。

入学した年度の翌年度からは入学期にかかわらず、すべてのスクーリングに履修申請可能です。

社会 教育 主事	2025年4月～2026年3月に履修申請可能なスクーリングほか（予定）															入学辞退届提出期限 (当日消印有効)	2025年 4月3日 入学式
	前期 マイア	春期	GW	大阪	仙台	前期 週末	夏期	秋期	後期 マイア	札幌	名古屋	後期 週末	福岡	冬期			
○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3月26日(水)	出席可
×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4月24日(木)	出席不可
×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5月26日(月)	出席不可
×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6月24日(火)	出席不可
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	※	×	×	○	○	○	9月25日(木)	2026年4月3日の入学式 出席不可
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	10月27日(月)	2026年4月3日の入学式 出席不可
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	11月25日(火)	2026年4月3日の入学式 出席不可

※後期メディアスクーリングの受講開始は10月2週目以降になります。

要
募
項
集

3. 出願書類の郵送先・お問い合わせ先

出願書類に記載・押印もれ、証明書の同封もれがないかを十分に点検してください。必ず「簡易書留」で郵送してください（出願書類到着の個別連絡はしないため、締切日必着・到着日がわかるように書留番号を控えてください。郵便局のwebサイトでご自身で配達状況の確認ができます。）。**本学窓口では受け付けません。**なお、一度提出された書類は返却いたしません。必要に応じてコピーをとり、各自保管してください。

〒102-8445 東京都千代田区富士見 2-17-1 法政大学通信教育部 入学選考担当
 TEL:03-3264-6539（月曜～金曜 9：00～11：30、12：30～17：00 ※土・日・祝日・大学の休業日を除く）
 E-mail:tsukyo_app@ml.hosei.ac.jp

※お問い合わせの際は「hosei.ac.jp」からのメールに対し受信許可設定をお願いします。

■不足書類を追加で送付する場合

不足書類が生じた場合、本学にご連絡の上、「<不足書類在中>」と封筒に記載して、入学選考担当へ送付してください。本学窓口では受領いたしません。

4. 学生納付金の返還

出願辞退の場合（各期出願書類郵送締切日まで）

本学への出願を辞退する場合、各出願期とも出願書類郵送締切日（必着）までとなります。

- I インターネット出願サイトでの出願登録は完了、入学諸経費未納入（お支払い前）・書類未提出の方
→本学通信教育部へメール(tsukyo_app@ml.hosei.ac.jp)により、出願辞退についてご連絡ください。
メールの件名へ「出願辞退」、メールの本文には「出願を辞退します。①出願 ID ②出願期(前期・後期)および回 ③本科生・科目等履修生 ④氏名 ⑤出願学部・学科・学年(本科生の場合のみ)を明記し、送信してください。ご返金対象となるお支払いはないため、本学からの返信メールをもって、手続き終了となります。
- II インターネット出願サイトでの出願登録と入学諸経費のお支払いは完了されていて、志願書類を未提出の方(必要な書類が期日までに揃わず、提出が難しい見込みの方を含む)
a. 次回に書類を提出できる見込みの方→本学通信教育部へメール(tsukyo_app@ml.hosei.ac.jp)により、出願回の変更について、ご連絡ください。
メールの件名「出願回の変更について」、メールの本文には「出願回の変更希望。①出願 ID、②出願期(前期・後期)および回、③本科生・科目等履修生、④氏名、⑤出願学部・学科・学年(本科生の場合)、⑥出願変更理由(具体的に。例:書類の提出が間に合わなかったため 等)を明記し、送信してください。不足の書類等は、次回出願回の出願書類郵送締切日までに本学へ到着するように郵送してください。
- b. 次回以降の出願変更を希望しない方
→下記IIIと同様に「出願辞退届」をご提出ください。
- III インターネット出願サイトでの出願登録、入学諸経費のお支払い、および志願書類を提出済の方
(上記II-b またはIIIに該当し、出願を辞退する場合)本学通信教育部に電話連絡(03-3264-6539)のうえ、出願書類通奏締切日(必着)までに、「出願辞退届」の書面をご提出ください。
A4 判用紙に、①宛名として「法政大学総長」、②書面の表題として「出願辞退届」、③記入年月日、④出願期(前期または後期)および回、⑤本科生・科目等履修生の別、⑥氏名、⑦出願学部・学科・学年(本科生の場合)、⑧出願辞退理由(具体的に。例:期日までの提出が難しいため 等)
出願辞退届の受領後に、本学より「返金願」の用紙を送付します。お支払いいただいている入学諸経費は返還します。

※出願書類郵送締切日以降の辞退のお申し出やご連絡について

ご連絡が郵送締切日以降となる場合は、「出願辞退」としての取り扱いになりません。IIに該当の方は、出願不備となります。通信教育部より別途ご連絡する案内に従ってください。IIIは、選考結果通知の到着をお待ちいただき、入学許可である場合には下記の「入学辞退届」の手続きを、入学不許可の場合は、通知に同封する案内に従い、返金手続きを行ってください。

書類の郵送先 〒102-8445 東京都千代田区富士見 2-17-1 法政大学通信教育部入学選考担当

入学不許可の場合

入学選考の結果、入学不許可となった場合は、選考料を除く入学諸経費を返還します。返還の手続きは、個別に書面にてご連絡します。

入学辞退の場合

入学許可後に、やむを得ない理由によって本学への入学を辞退する場合は、本学通信教育部に電話連絡(03-3264-6539)のうえ前頁記載の「入学辞退届」提出期限までに書面にて申し出てください。A4判用紙に、①宛名として「法政大学総長」、②書面の表題として「入学辞退届」、③記入年月日、④入学期(前期もしくは後期)、⑤入学許可となった学部学科学年、⑥学生証番号、⑦氏名、⑧住所、⑨電話番号、⑩入学辞退理由(具体的に)を記載してください。入学辞退届はすでにお届け済みになっている本学の入学許可通知書、学生証(科目等履修生は身分証明書)、(編入学者は)履修・成績通知書、テキスト・補助教材などとともに、〒102-8445 東京都千代田区富士見 2-17-1 法政大学通信教育部 入学選考担当へ、送料は自己負担のうえ返送してください。入学辞退届の受領後に、本学より返金願の用紙を送付します。

※返金は、返金願の用紙を本学で受領後約1カ月半～2カ月かかります。ご了承ください。

入学辞退届提出期限

募集要項1. 出願期間の表にあるとおりです。入学辞退届が提出期限までに本学に到着した場合、下記の入学諸経費を返還します。

入学辞退により返還する入学諸経費

1 年次入学	選考料、入学金を除き、教育費 90,000 円のみ返還します。
2・3・4 年次編入学	選考料、編入料、入学金を除き、教育費 90,000 円のみ返還します。
復籍・再入学・再度の入学	選考料、復籍料・再入学金・再度の入学金を除き、教育費 90,000 円のみ返還します。
通学課程からの転籍	選考料、転籍料を除き、教育費 90,000 円のみ返還します。
科目等履修生	選考料、登録料を除き、科目登録料のみ返還します。

〔重要〕入学辞退提出期限以降、入学年度内の半期までに退学する場合、納入された教育費は返金いたしません。

5. 事前相談を要する方

次の方は、**出願する前に必ず下記要領で事前相談を行ってください。**

- ・事前相談の回答には時間がかかります。下記の事前相談受付期限までにご相談ください。なお、ご相談を受け付けした時期および内容によっては希望する出願期間の締切日までに回答できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・郵送先は P.6 を参照してください。回答文書は返信用封筒を使って送付します。一度提出された書類は返却いたしません。

事前相談受付期限

2025 年度前期入学希望者 2024 年 12 月 15 日まで（消印有効）

2025 年度後期入学希望者 2025 年 6 月 15 日まで（消印有効）

上記日付以降のご連絡および相談は、次期または次年度入学志望のための手続きとして受け付けいたします。

海外の学校卒業（または退学）を入学資格として出願を希望する方

入学条件

学校教育における 12 年の課程を修了した者。編入学を希望する場合は下記①または②の条件を満たす者。

- ①海外の大学・短期大学卒業の方は**学士（Bachelor）**、もしくは**短期大学士（Associate）**を取得していること。
- ②海外の大学を中途退学した方は、**学士（Bachelor）**が取得可能なプログラム／コースに在籍していたこと。
 - ・海外の短期大学を中途退学した場合および、海外の短期大学を卒業されていても、**短期大学士（Associate）**を取得していない場合は、編入学事前相談の手続きの対象外です。
- ③海外の高等学校を卒業した方

事前相談の方法

上記入学条件①～③のいずれかに該当する方は、ご出願前に必ず入学・編入学資格の有無について、文書でお問い合わせください。

事前にご相談なく出願された場合には、希望する出願回（P.5 参照）での選考ができないため、ご注意ください。

- ・事前相談に関する問い合わせ文書および関連書類を入学選考宛に郵送（受付期限厳守）してください。
- ・事前相談の手続きには約 2 カ月程度かかります。確認完了後、本学から「回答書」を郵送します。

事前相談の提出書類

A 出願者本人に関する文書（A 4 サイズの用紙に記入のこと）

1. 氏名（フリガナ） 2. 住所 3. 電話番号 4. メールアドレス 5. 入学希望学部・学科・学年

B 卒業または退学された学校に関する文書（A 4 サイズの用紙に記入のこと）

1. 卒業または退学した学校名 2. 卒業もしくは退学した学部学科名 3. 学校所在地 4. 入学年月
5. 卒業年月もしくは退学年月 6. 修得単位数 7. 授与された学位名称（退学者は授与される予定であった学位名称）※③の場合は記入不要
8. （大学入学以前に）卒業した高等学校名・学校所在地および卒業年月、高校卒業の場合は、中学校の名称・学校所在地および卒業年月

C 返信用封筒（定形長 3 封筒の表面に住所・氏名を記入する。110 円切手を必ず貼付）

D 成績証明書（表・裏）のコピー ※中国の学校の出身者は次頁の注意点も参照してください。

E 卒業証明書または卒業証書（表・裏）のコピー ※中国の学校の出身者は次頁の注意点も参照してください。

※以下は、該当する方がご提出ください。

F（証明書に記載のある氏名と現姓が異なる方）3 カ月以内に発行された戸籍抄本（個人事項証明書）原本

G（外国籍の方）3 カ月以内に発行された住民票（マイナンバー（個人番号）は非表示にすること。国籍、在留資格、在留期間を明記したもの）原本 ※海外に居住している場合は、パスポートのコピー

H（大学の中退者）修得単位ごとの学習総時間数が分かる大学公式資料（コピー可）

各セメスター授業時間と週の授業回数および週 1 コマあたりの時間数も明記のこと

I 上記入学条件①の大学卒業者に該当する方で、卒業時に**学士（Bachelor）**を取得していない場合

出身大学の所在国の在日大使館教育担当部門等で、該当の大学の卒業資格として**学士（Bachelor）**の取得が可能であることを確認のうえ、その旨を証明する大使館が作成した文書

J 上記入学条件②該当者

所属していた大学のプログラム／コースで**学士（Bachelor）**が取得可能であることを証明できる文書

注意点

- ・前記D～Jの書類は原則として英文または和文のものに限ります。
- ・英語圏以外の出身校で、英文の証明書が発行できない場合は、志願者が証明書を英訳または和訳して**大使館**で公正証書として英訳または和訳が正しいことと、本書のコピーに間違いがないことの2点について証明を受けたものを証明書のコピーと一緒に提出してください。
ただし、「修得単位の学習時間が分かる資料」は英文または和文に限ります。
- ・中国の学校の出身者は、出身校が発行した英文の卒業証明書・成績証明書に加え、CHSI（中国学歴・学籍認証センター 日本代理機構発行）の学歴認証（英語版）および成績認証（英語版）の認証書（コピー）をご提出ください。なお出願の際には原本を提出していただきます。
- ・出願資格の確認の状況によっては、本学が指定する書類を追加でご提出いただいたり、ご確認をお願いすることがあります。あらかじめご了承ください。
- ・ご提出いただいた事前相談に関する書類は、回答の結果にかかわらず返却できません。
必要な場合は、ご自身でもコピーを取り、保管してください。

要
募
項
集

障がいもしくは疾病があり、合理的配慮を希望する方（通学課程からの転籍希望者を含む）

障がいもしくは疾病があり、学習に際し支障があるため、本学通信教育部での学習に合理的配慮を希望される場合、出願前の事前相談にて状況をお伺いしています。ご本人の状況や配慮希望内容を確認させていただきながら、大学側の対応が可能な内容についてご説明し、入学となった場合の本学の配慮について合意を図ります。特に試験会場での受験や教室・会場でのスクーリング受講に不安をお持ちで、本学通信教育部での学習に合理的配慮をご希望の方は、事前相談をお申し込みください。

障がい・疾病の状況や程度、大学への配慮希望内容にもよりますが、相談終了までにかかる期間は2カ月～3カ月（目安）となります。出願期間中のお申込は、各期の終了後より順次、相談の受付をいたしますのでお時間がかかります。

また、出願の受付は事前相談終了後となります。

なお、事前相談の内容は、入学選考（合否結果）とは一切関係ありません。

事前相談に関するご注意

- ・事前相談で受領した個人情報については、個人情報保護に関する法令と「法政大学プライバシーポリシー」に則り、出願および修学上の配慮事項の確認以外の用途には利用いたしません。
- ・事前相談は個別の状況確認が必須となるため、相談内容に応じて、追加で診断書などの客観的な資料のご提出をお願いすることや出願希望学科の教員との面談を実施することがあります。なお、確認に必要な資料やご本人からの回答がない場合は、事前相談を継続できないことがあります。
- ・法政大学では、バリアフリーに関する改善を鋭意行っておりますが、個々人の障がいの状況に必ずしも対応できておりません。特に地方の単位修得試験会場、スクーリング会場はバリアフリーの改善が進んでいない会場もあります。できる限りの配慮はしておりますが、十分な対応が困難なことがあります。あらかじめご了承ください。
- ・学部学科によっては登校が必要となる必修科目、学外での宿泊を伴うフィールドワークを行う必修科目があります。

事前相談の方法

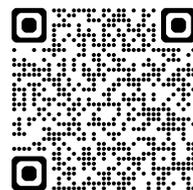
前ページの事前相談受付期間に文書もしくはメール（tsukyo_app@ml.hosei.ac.jp）にてお問い合わせください。その際、下記の内容についてお知らせください。

- ①氏名②住所③電話番号 ④メールアドレス ⑤入学希望学部・学科・学年 ⑥学習活動に支障のある事項（概要）
- ⑦障がい・疾病のために本学通信教育部へ求める配慮希望内容（概要）

受領後、事前相談の詳細についてご連絡差上げます。



2024年現在の法政大学通信教育部における支援内容は、通信教育部 Web サイトに掲載しています。
リンク先の内容を、事前に必ずご確認ください。
(https://www.tsukyo.hosei.ac.jp/topics/20241022_5990.html)



事前相談 Q&A

次ページを参照してください。

障がい・疾病に関する事前相談 Q&A

Q：障がい・疾病がありますが、法政大学通信教育部での学習上、どのような不都合が生じそうかイメージがわからないため、合理的配慮を希望した方がよいのかわかりません。

A：本学通信教育部は大学の通信教育課程であり、一般的な通学スタイルの課程とは学習制度が異なります。また、他の通信制大学とも学習方法・仕組みが異なる点があります。障がい・疾病により本学への入学後にどのような合理的配慮が必要となるか検討されるにあたっては、まずは、本冊子『入学要項』や本学通信教育部 Web サイトをご覧ください。場合によっては本学市ヶ谷キャンパスにお越しいただくなど、本学通信教育部の学習制度をご確認ください。本学通信教育部 Web サイト上では、入学検討者向けの情報に加え、在学生向けの学習ガイドやスタートアップ動画もご覧いただけます。また、電話・メールでもご質問・ご相談をお受けしています。入学後に合理的配慮を希望した場合、内容によっては対応が難しいことがあるため気になる点については入学前に確認しておくことを強くおすすめします。事前に本学通信教育部での学習方法の疑問点をできるだけ解消し、本学の制度とご自身の状況を照らし合わせ、合理的配慮の希望有無をご判断ください。

Q：障がい・疾病があります。現時点では特に合理的配慮は必要ないと思いますが、将来的に障がい・疾病の状況が変化したことにより合理的配慮を希望する場合はどうすればよいですか？

A：入学前・後にかかわらず、合理的配慮内容は学生（志願者）と大学の間で、学生（志願者）の状況や希望する合理的配慮内容と大学にて対応可能な範囲について確認・相談を行ったのち決定となります。入学前の障がい・疾病にかかる事前相談は申し込み時点でのご本人の状況・合理的配慮希望内容を基に行います。事前相談の結果は、相談を進める中でのやり取りや提出書類、面談で確認させていただいた状況を基にしたものとなります。入学後、障がい・疾病の状況が変わったことにより、本学に新たに合理的配慮を希望される場合には改めてご申告・ご相談ください。なお、その場合も時期・内容によってはご希望の配慮について対応が難しい場合があります。不安がある方は、現時点で合理的配慮を希望されない場合でも、事前相談でご自身の状態をお申し出ください。入学後の詳細は、在学生用副教材『学習のしおり』および通信教育部 Web サイト (P.9 リンク参照) をご覧ください。

Q：障がい・疾病により人と接することが苦手です。まったく人と接することなく学習、卒業できますか？

A：本学通信教育部は通信教育課程ではありますが、1 年次入学 / 2・3・4 年次編入学を問わず、完全に在宅のままなどで単位修得や卒業ができる学習制度ではありません。スクーリングにおいては集団の中で授業を受ける必要があり、教員や他の学生とのコミュニケーションを必要とする状況が想定されます。科目によっては 300 人程度の学生が 1 教室に集まり、教員が他の学生の前で発表や発言を求めたり、グループワークを行ったりする授業があります。また、通信学習やメディアスクーリング科目においては集団の中で試験を受けることが必要となります。受験者数・受講者数によって、周囲に学生が着席する環境での受験となります。たとえば、スクーリング受講中、単位修得試験・スクーリング試験受験中の付き添い者の入室や、個室での授業受講・試験受験や時間延長にはお応えし兼ねますが、障がい・疾病の状況によっては、教室へ出入りのしやすい座席で大学が指定する席に指定席を設ける等の対応が可能です。

Q：スクーリングの出席日数、レポート・試験の解答内容が不十分であっても、障がい・疾病が理由であれば採点や成績評価の際に考慮してもらえますか？

A：成績は、すべての受講者に対して、シラバスなどに記載されている成績評価基準に基づき、学習上の習熟度によって最終的に評価されます。(障がい・疾病の有無によって成績評価に対しての配慮がなされるものではありません。)

Q：障がい・疾病があります。事前相談を行うことにより、入学後はすべての希望する合理的配慮を受けられるのでしょうか。

A：事前相談は、志願者と大学の間で、志願者の状況や希望する配慮内容と大学にて対応可能な範囲について確認し、入学となった場合の学習上の合理的配慮について出願前に合意を図るためのものです。事前相談の結果、全ての要望にはお応えできないことがあります。志願者は、事前相談終了後、その結果を了承したうえで出願してください。入学後の学習においては、事前相談の結果に基づいて合理的配慮がなされます。

6. 出願に関する注意事項

海外に在住の方

- ・海外からのレポート提出は可能ですが、単位修得試験、卒業に必要なスクーリングなどは、日本国内の会場のみで実施します。
- ・教材などは海外の居住先に直接発送をすることができます（一部補助教材を除く）。ただし、国内外の郵便事情や居住地の情勢により、遅延や発送手段の変更があり得ます。
- ・書類送付は郵送のため、日本から居住される国・地域への配達状況については出願前にご自身で必ず確認してください。
- ・スクーリングなどを履修申請する際の送金方法は銀行振り込みに限ります。本学口座への入金額が不足とならないようよくご確認のうえ、円建てで納入してください。
- ・外国に在住している外国籍の方は、日本語能力試験2級以上またはN2以上を取得していることが入学条件です。出願の際には日本語能力試験N2、N1（2級、1級）のいずれかの合格を証明する書類（日本語能力試験認定結果および成績に関する証明書）が必要です。ただし、日本の大学などを卒業後に帰国している方については、出身大学などの「日本語による学習対応能力等証明書」（本学指定書式）の提出をもってこれに代えることがあります（事前に相談し、書類を請求してください）。
- ・緊急連絡先は日本国内在住の成人に限ります。なお、緊急時の大学からの連絡は日本語で行います。

外国籍の方

- ・学校教育における12年の課程を修了していることが入学条件になります。
- ・本学通信教育部の学生として「留学」の在留資格は取得できません。
- ・テキスト、教材、授業で使用する言語は日本語です。レポートも日本語で作成します。翻訳のサービスは行っておりません。
- ・日本に居住している外国籍の方は、出願時に「住民票」の提出が必要です。住民票は個人番号（マイナンバー）を非表示、国籍およびローマ字（ヘボン式）表記された氏名、**在留資格・在留期間**が記載されたものを取得し、提出してください。省略されたものは、受付不可となります。
- ・外国に在住している外国籍の方は、日本語能力試験2級以上またはN2以上を取得していることが入学条件です。出願の際には日本語能力試験N2、N1（2級、1級）のいずれかの合格を証明する書類（日本語能力試験認定結果および成績に関する証明書）が必要です。ただし、日本の大学などを卒業後に帰国している方については、出身大学などの「日本語による学習対応能力等証明書」（本学指定書式）の提出をもってこれに代えることがあります（事前に相談し、書類を請求してください）。
- ・緊急連絡先は日本国内在住の成人に限ります。なお、緊急時の大学からの連絡は日本語で行います。

以前に本学に在籍していた方

- ・本学を「懲戒による退学」「懲戒による停学期間中に退学・除籍」により離籍された方の出願はできません。
- ・本学を離籍もしくは卒業された方は、出願書類として成績や在籍状態を証明する書類は不要です。選考は、ご提出いただいた書類および「法政大学プライバシーポリシー」のとおり本学が保存している出願者在籍時の履修成績状況や学籍状況に基づき行います。
- ・出願できる学年は、離籍時の学年となります（転部・転科を伴う復籍・再入学の場合、離籍時の学年から下の学年での入学となる場合があります）。

7. インターネット出願の手順

はじめに

- ・インターネット出願の入力だけでは、出願は完了しません。また、書類の提出だけでも、出願となりません。証明書類の郵送物到着、入学諸経費の支払完了によって出願完了とみなし、入学選考を行います。上記のすべてが各出願締切日までに完了・到着していない場合は選考対象となりません。
- ・証明書類は、必ず原本を提出してください。詳細は、P.15以降の出願書類一覧をご確認ください。
- ・証明書類の郵送は、必ず**簡易書留**で送付してください。
- ・出願日付（「誓約書」に記載された日付）の時点で18歳未満の場合は、「法定代理人（親権者等）同意書」を法政大学通信教育部 Web サイトからダウンロードのうえ、必要事項を入力して提出してください。未成年者に親権を行う者がいないとき、または親権を行う者が管理権を有しないときは、未成年後見人による同意書として提出してください。

事前にご準備いただく情報

インターネット出願サイトの入力には時間制限があります。事前に以下の内容を確認のうえ、手続きを開始してください。

- 社会教育主事・社会教育士課程の受講希望の有無（前期第1回目出願で要件を満たす者のみ受講可能）
- 本科生（1年次入学・編入学・復籍・再入学・再度の入学・転籍）、選科生、教職生の区分
- 志望学部・学科
- 法政大学在籍経験の有無
- 本人情報（氏名・英字氏名（ヘボン式）・生年月日・性別・国籍・連絡先電話番号・携帯電話番号・メールアドレス）
 - ※メールアドレスは、日常的に受信を確認でき、またドメイン「hosei.ac.jp」からの受信が可能な設定のアドレスをご用意ください。
- 緊急連絡先情報（氏名・住所・電話番号。必ず連絡先となるご本人の承諾を得てください）
 - ※緊急時の大学からの連絡は日本語で行います。大学からの連絡を、必ず本人に伝えることが可能な方をお願いします。
- 学歴（中学校以降。入学年月、卒業（退学）もしくは卒業（退学）見込年月）
 - ※別紙に記入もしくは本学 Web サイトより書式をダウンロードして入力してください。
- ・中学校卒業以後の学歴や学習歴（入卒年月・学校名・学部・学科・出身校所在地など）を正確に全て別紙に記入してください。また、短期のアルバイトや無職であった期間などを含めて空白期間のないように職務履歴・職業経験などを別紙に記入してください。
- ・学習歴・職務履歴などは入学選考の必須書類となりますので、未記入や虚偽が判明した場合は入学不許可、あるいは入学許可を取り消すことがあります。
- ・書ききれない場合は、コピーをする等で詳細を記入のうえ他の提出書類と同封して郵送してください。
- ・大学院を修了されている方は、その旨を学歴・学習歴に入力のうえ、**大学の卒業証明書および成績証明書**を提出してください。
- ・法政大学に以前在籍したことがあって、今回復籍、再入学、再度の入学、編入、転籍を希望する場合は、「〇〇〇〇年〇月法政大学〇〇学部〇〇学科入学」「〇〇〇〇年〇月法政大学〇〇学部〇〇学科退学」と入力してください。通学課程、通教の区分も記入してください。
- ・学校を卒業見込、あるいは退学見込で出願し、入学許可となって入学した方が、大学の指定する期日までに卒業や退学についての証明書を提出できない場合、入学を取り消します。証明書の提出について厳守してください。
- 職務経歴（入社年月、退社年月）
 - ※別紙に記入もしくは、本学 Web サイトより書式をダウンロードして入力してください。
- ・職務経歴とは、短期のアルバイトなどを含んだ経歴をいいます。正確にすべて別紙に記入してください。
- ・無職であった期間は「〇〇〇〇年〇月～〇〇〇〇のため無職」などと記入してください。無職とは、学生・主婦など、職業を持たない者のことをいいます。
- ・職務経歴の無い方は「2025年〇月職務経歴なし現在に至る」と記入してください。
- ・書ききれない場合は、コピーをする等で詳細を記入のうえ他の提出書類と同封して郵送してください。

インターネット出願の手順

■ 出願手続きを始める前に

この『入学要項』と通信教育部 Web サイトの『インターネット出願 操作マニュアル』をご覧のうえ、以下の内容を確認・準備してください。

1

- ・出願条件、出願受付日程およびインターネット入力・書類提出期限
- ・インターネット出願の利用環境を確認
- ・インターネット出願で入力する内容の確認出願に必要な書類の入手（P.15～30参照）



■ 出願サイトへアクセス

法政大学通信教育部 Web サイトから、インターネット出願サイトへアクセスします。

2

- ・出願サイトのトップ画面で、ネット出願の流れを確認
- ・利用規約の確認
- ・出願情報を選択



■ 入学諸経費の確認および選択

本科生、科目等履修生および入学方式によって、入学諸経費が異なります。適用される入学方式と金額を確認し、選択してください。

3

ジャックス教育ローンを利用する場合は事前にジャックス教育ローン Web サイトから申し込みを行い、教育ローン利用承認後に出願をしてください。



■ 利用者登録／ログイン・支払い

利用者登録を行います。ここで登録したメールアドレスに案内メールが届きますので、メール本文のリンクをクリックして登録してください。

4

- ・志願者情報の登録
- ・支払い方法の選択(コンビニエンスストア、クレジットカード、ペイジー(銀行 ATM)のいずれかを選択できます。コンビニエンスストアおよびペイジーは、登録完了後に支払い内容をお知らせするメールが届きますので、支払いを完了させてください。



■ 送付用ラベルを印刷・必要書類を郵送

「志願書1」「宛名ラベル」等が出力可能となります。それぞれ A4 サイズで印刷のうえ、折り曲げずに角2サイズの封筒に「宛名ラベル」を貼り付け、「志願書1」と必要書類を封入のうえ郵便局の窓口で「簡易書留」で郵送してください(郵便ポストへの投函はできません)。

5



■ 出願登録完了・選考へ(P.4 参照)

6

大学から確認のため、連絡を差し上げる場合があります。

推奨環境

端末	OS	ブラウザ推奨環境	PDF
パソコン	Windows: 最新版	Microsoft Edge 最新版、Firefox 最新版、Google Chrome 最新版	Adobe Acrobat Reader 最新版
	Mac OS: 最新版	Safari 最新版、Firefox 最新版、Google Chrome 最新版	
スマートフォン タブレット	Android: 最新版	Android:Chrome 最新版 ※Android に標準装備されているメーカー独自のブラウザには対応していません。	
	iOS: 最新版	Safari 最新版	

要
募
項
集

システム利用手数料

出願時には、入学諸経費のほかシステム利用手数料がかかります。
出願入力時に選択いただき、入学諸経費とあわせてお支払いいただきます。

支払方法	出願システムにおける取扱金額	手数料 (税込)
コンビニエンスストア	50,000 円未満の場合	440 円
	50,000 円以上の場合	660 円
Pay-easy(ATM)	50,000 円未満の場合	440 円
	50,000 円以上の場合	660 円
クレジットカード	50,000 円未満の場合	880 円
	50,000 円以上 100,000 円未満の場合	1,980 円
	100,000 円以上 150,000 円未満の場合	3,080 円
	150,000 円以上 200,000 円未満の場合	4,180 円
	200,000 円以上 250,000 円未満の場合	5,280 円
	250,000 円以上 300,000 円未満の場合	6,380 円
	300,000 円以上の場合	7,480 円

*申請後、登録科目の追加などで直接振込を行う場合は、法政大学通信教育部 Web サイトに掲載する「操作マニュアル」を参考のうえ、依頼者名に出願情報を記入のうえ振込を行ってください。

操作の詳しい手順は、法政大学通信教育部 Web サイトで「操作マニュアル」としてご紹介しています (PDF 形式)。
こちらもご覧のうえ、出願手続を行ってください。

<https://www.tsukyo.hosei.ac.jp>



通信教育部 Web サイト
「ニュース」内に「操作マニュアル」を
表示します。

ニュース

2020年〇月入学 出願サイトおよびマニュアルについて

※ニュース一覧
本学の出願方法は「インターネット出願」となっています。
以下の手順に従って出願してください。
操作マニュアルも公開しています。更新がある場合は、随時お知らせいたします。

1. 『入学要項』冊子の内容確認
『入学要項』冊子には入学にあたっての必要事項を掲載しておりますので、まずは『入学要項』をトップページの資料請求リンク先より請求して、内容をご確認ください。紙面で提出いただく「誓約書」や「志願書2」などの書類も同時してきます。なお、下記「ニュース」からも『入学要項』や提出書類一式を確認・ダウンロードができます。
リンク:「ニュース」
『(入学要項)および出願書類書式はWebサイトからもダウンロードできます』
『誓約書』『志願書2』ほか同時の提出書式についてご自分で上記から印刷して使用する場合は、一般的なコピー用紙程度の厚さの用紙(光沢紙除く)を使用してください。また、これらの書式は、必ず出願年度用のものをお使いください(前年度以前版は使用できません)。

2. 出願サイトへのリンク

法政大学通信教育部

インターネット出願サイト リンク

2020年〇月入学インターネット出願登録期間

第1回 2020年〇月〇日 10:00~〇月〇日 17:00

第2回 2020年〇月〇日 10:00~〇月〇日 17:00

第3回 2020年〇月〇日 10:00~〇月〇日 17:00

後期第3回は「本科生」のみ出願可能となります。ご注意ください。

本科生

1. 入学資格および提出書類、修業年限・在学年限、単位認定、入学諸経費

1 年次入学

1 年次入学 入学資格

- (A) 高等学校または中等教育学校卒業者
 - (B) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者
 - (C) 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者（事前相談 p.7）、または、これに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - (D) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した教育施設（在外・国内）の当該課程を修了した者
 - (E) 文部科学大臣の指定した者
 - (F) 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験（旧・大学入学資格検定）に合格した者
 - (G) 高等専門学校 3 年次を修了した者
 - (H) その他本大学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
 - (I) 専修学校の高等課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たす課程を修了した者
- ・いずれも 2025 年 4 月 1 日現在で、満 18 歳以上の者
 - ・いずれも「見込み」の者を含みます。
 - ・外国籍で海外に在住している場合は日本語能力試験 N2 または 2 級以上を所持している者
 - ・入学後に、入学資格を満たしていないことが判明した場合は、入学時にさかのぼって入学不許可となります。

修業年限・在学年限

修業年限	在学年限	備考
4 年間	12 年間	休学は通算 5 年間

- ・在学年限に休学期間は含まれません。
- ・学年進行に際し、進級要件があります。
- ・在学年限延長制度（12 年）があります。

入学諸経費

選考料	入学金	教育費	合計
10,000 円	30,000 円	90,000 円	130,000 円

- ・指定市販本など、配本されない教材の購入にかかる費用およびスクーリング受講料、教職課程の科目登録料などは、入学諸経費の中に含まれていません。
- ・入学諸経費の分納はできません。出願時にご利用いただける教育ローンの詳細は通信教育部 Web サイトをご覧ください。
- ・入学辞退期限後（P.6）以降、入学年度内の半期までに退学する場合でも、納入された教育費は返金いたしません。

卒業までの納付金の概算（本科生法学部に入学した場合）

		1年次	2年次	3年次	4年次	合計
1 年次入学 (修業年数4年)	選考料	10,000円	—	—	—	640,000円
	入学金	30,000円	—	—	—	
	教育費	90,000円	90,000円	90,000円	90,000円	
	スクーリング受講料	16回/1回15,000円 概算…240,000円				

- ・スクーリング受講料は東京（春期・夏期・秋期・冬期・ゴールデンウィーク・週末）スクーリングの受講を想定し、1 科目あたり 15,000 円で計算しています。
- ・修業年数を超えて在学を続ける場合は教育費（90,000 円）が毎年必要です。
- ・卒業論文を提出する場合は卒業論文審査料（10,000 円）が必要です。文学部は卒業論文が必修です。
- ・上記金額は、スクーリングの受講回数を増やす、またはメディア・オンライン開講科目・地方スクーリング（1 科目あたり 20,000 円）を受講するなどの条件により変わります。
- ・上記金額は本学に納入する金額であり、指定市販購入などの教材費・送料は別途個人負担となります。

教職課程の履修

教職課程の履修希望者は、必ず、通信教育部 Web サイト「教職課程」ページ（<https://www.tsukyo.hosei.ac.jp/faculty/teacher-training/>）を参照し、自身の適用法令や課程表等を確認して出願してください。

2 年次編入学

2 年次編入学 入学資格

- (A) 大学に1年以上在籍し、30単位以上を修得した者（複数の大学による在籍年数および修得単位の合算は不可）
- (B) 本学通学課程を2年次に離籍した者
- (C) ①本学通信教育課程へ「再度の入学」をした後に除籍または退学した者、または②本学通信教育課程を「修業の見込みがないと認められた者」として退学処分になった者で、かつ上記（A）を満たす者

※いずれも「見込み」または「予定」の者を含みます。

※外国籍で海外に在住している場合は日本語能力試験N2または2級以上を所持している者

- ・上記の条件を満たさない場合は、1年次入学への出願になります。
- ・3年次編入学可能な方が、2年次編入学を希望することはできません。
- ・短期大学、専門学校を中途退学されている場合は、2年次編入を希望することはできません。「1年次入学（P.15）」の入学資格をご確認ください。
- ・入学後に、入学資格を満たしていないことが判明した場合は、入学時にさかのぼって入学不許可となります。

2 年次編入学 提出書類（ 欄の書類は入学要項に同封。インターネット出願システムによる登録後、該当する書類を提出すること）

提出書類	入学資格	(A) 他大学中途退学（予定）者	(B) 本学通学課程2年次離籍者 (C) 本学通信教育課程修業不良退学者
志願書1（インターネット出願後にダウンロード・印刷できます）		○	○
学歴・学習歴		○	○
職務経歴		○	○
誓約書※1		○	○
学生証用身分証明書用写真台紙（写真1枚貼付）		○	○
志願書2（本科生用）学科によって様式が異なります。		○	○
戸籍抄本または住民票（3カ月以内に発行されたもの） ※提出する証明書の記載氏名と現在の氏名が異なる場合は、異なる両方の氏名が記載された戸籍抄本を提出してください。 住民票は個人番号（マイナンバー）を非表示にして取得してください。外国籍の方は、国籍およびローマ字（ヘボン式）表記された氏名、在留資格、在留期間が記載されたものを取得してください。記載が省略されたものは受付不可となります。		○	○
在籍期間証明書（または退学証明書、2年以内に発行されたもの）※2・4		○	
成績証明書 （単位数と評価の記載があること、2年以内に発行されたもの）※3・4		○	
日本語能力試験認定結果および成績に関する証明書（N2または2級以上）（2年以内に発行されたもの）		海外に居住している外国籍者	
P.8～10の事前相談回答文書		海外の学校卒業（または退学）を入学資格として出願を希望する方 障がいもしくは疾病があり、合理的配慮を希望する方	

本科生

- ※1：出願者本人の自筆、押印であること。日付を必ず記入すること。鉛筆・シャープペンシル・消せるインクのペンは不可。
- ※2：「退学予定」で出願される方は前期生3/31、後期生9/30以前の日付で現在在学中の大学を退学できることが出願の条件になります。出願時には在学証明書と成績証明書を提出し、退学日付以降、在籍期間証明書と成績証明書を再度提出してください。
- ※3：「退学予定」で編入学を希望される方で、出願時30単位の修得を満たしていない場合は、「単位修得見込証明書」など30単位以上を修得する見込であることが分かる書類を提出してください。退学日付以降、すみやかに成績証明書を再度提出してください。大学の指定期日までに提出できない場合、入学許可あるいは入学を取り消します。
- ※4：「～通知書」等の書式は一切不可。

修業年限・在学年限

修業年限	在学年限	備考
3年間	11年間	休学は通算5年間

- ・在学年限に休学期間は含まれません。
- ・学年進行に際し、進級要件があります。
- ・在学年限延長制度（12年）があります。

■ 単位認定

- ・ 単位認定は入学選考に併せて実施するため、事前には結果をご案内できません。
- ・ 編入学生の単位認定は、出願時に提出された書類をもとに原則として下記の表に従って、入学時に行います。
- ・ 入学前に複数の大学・短期大学などに在籍していた場合、合算した単位認定は行いません。

	本学 各学部・学科 教養課程			本学 各学部・学科 専門教育課程	本学卒業所要単位における スクーリング必要単位数 30 単位のうち
	一般教育科目 36 単位のうち	外国語科目 4 単位のうち	保健体育科目 2 単位のうち	専門教育科目 82~86 単位のうち	
(A) 他大学退学者 (C) 本学通信教育 課程修業不良 退学者	一般教育科目 24 単位を一括認定 内訳 人文分野 8 単位 社会分野 8 単位 自然分野 8 単位	個別認定 (英・独・仏のう ち 1 外国語 4 単 位以内) (※ 1)	個別認定 (2 単位以内)	個別認定 (原則として、本学 の入学を希望する各学部・学 科の 1 年次履修科目かつ認定 対象科目と同一科目を前籍で 修得した場合のみ認定) (※ 2)	7 単位 ただし、通信制大学の場 合、7 単位を上限に前籍 のスクーリング修得単位 数を認定
(B) 本学通学課程 2 年次離籍者	個別認定	個別認定	個別認定	同学部同学科へ 編入学した場合 個別認定 他学部他学科へ 編入学した場合 公開科目として 上限 16 単位まで	個別認定

※ 1：海外大学の退学者の場合、外国語科目は ESL など外国語として修得したもの（英・独・仏）のうち 1 外国語のみ認定します。
通信制大学の場合、本学の卒業所要単位のうち 2 単位はスクーリングで修得していることが必要です。

※ 2：海外大学の卒業生・退学者・短期大学の卒業生についての専門教育科目の単位認定はありません。

■ 入学諸経費

選考料	編入料	入学金	教育費	合計
10,000 円	20,000 円	30,000 円	90,000 円	150,000 円

- ・ 指定市販本など、配本されない教材の購入にかかる費用およびスクーリング受講料、教職課程の科目登録料などは、入学諸経費の中に含まれていません。
- ・ 入学諸経費の分納はできません。出願時にご利用いただける教育ローンの詳細は通信教育部 Web サイトをご覧ください。
- ・ 入学辞退期限後（P.6）以降、入学年度内の半期までに退学する場合でも、納入された教育費は返金いたしません。

■ 卒業までの納付金の概算（本科生法学部に入学した場合）

		1年次	2年次	3年次	4年次	合計
2年次編入学 (修業年数3年)	選考料	—	10,000円	—	—	510,000円
	入学金	—	30,000円	—	—	
	教育費	—	90,000円	90,000円	90,000円	
	編入料	—	20,000円	—	—	
	スクーリング受講料	12回/1回15,000円 概算…180,000円				

- ・ 教養科目の不足単位を通信学習で履修する場合は、教養科目の教材（指定市販本科目を除く）が無料で配本されます。ただし、スクーリングで履修する場合は、スクーリング受講料が必要です（P.22 参照）。
- ・ スクーリング受講料は東京（春期・夏期・秋期・冬期・ゴールデンウィーク・週末）スクーリングの受講を想定し、1 科目あたり 15,000 円で計算しています。
- ・ 修業年数を超えて在学を続ける場合は教育費（90,000 円）が毎年必要です。
- ・ 卒業論文を提出する場合は卒業論文審査料（10,000 円）が必要です。文学部は卒業論文が必修です。
- ・ 上記金額は、スクーリングの受講回数を増やす、またはメディア・オンライン開講科目・地方スクーリング（1 科目あたり 20,000 円）を受講するなどの条件により変わります。
- ・ 上記金額は本学に納入する金額であり、指定市販購入などの教材費・送料は別途個人負担となります。

■ 教職課程の履修

- ・ 教職課程の履修希望者は、必ず、通信教育部 Web サイト「教職課程」ページ（<https://www.tsukyo.hosei.ac.jp/faculty/teacher-training/>）を参照し、自身の適用法令や課程表等を確認して出願してください。
- ・ 単位認定した科目は、教員免許申請の「教育の基礎的理解に関する科目」および「教科及び教科の指導法に関する科目」として本学では証明しません。なお、教員免許申請の「その他必修科目」については、一部本学で証明できる場合があります。詳細は、入学後に教員免許取得の手引きを確認してください。

3 年次編入学

3 年次編入学 入学資格

- (A) 学士の学位を有する者（学士入学）
- (B) 大学に2年以上在籍し、60単位以上を修得した者（複数の大学による在籍年数および修得単位の合算は不可）
- (C) 短期大学を卒業した者
- (D) 高等専門学校を卒業した者
- (E) 専門学校修了者
（専門学校修了者とは、大学入学資格を有する者かつ昭和51（1976）年以降に設置された専修学校の専門課程（修業年限が2年以上、総授業時間数が1,700時間以上であるものに限る）を修了した者）
- (F) 高等学校等専攻科のうち大学に編入学できると文部科学省にて認めた課程を修了した者
- (G) 本学通学課程を3年次に離籍した者
- (H) ①本学通信教育課程へ「再度の入学」をした後に除籍または退学した者、または②本学通信教育課程を「修業の見込みがないと認められた者」として退学処分になった者で、かつ上記（B）を満たす者
 - ・ いずれも「見込み」または「予定」の者を含みます。
 - ・ 各省庁設置の大学校を修了した者は、学位授与機構により学士の学位を授与された場合に限り学士入学の資格を有します。
 - ・ 外国籍で海外に在住している場合は日本語能力試験 N2 または 2 級以上を所持している者。
 - ・ 各種学校の卒業生は、編入学の資格はありません。
 - ・ 4 年制大学中途退学（予定）者で上記要件を満たさない方は「2 年次編入学（P.17）」もしくは「1 年次入学（P.15）」の入学資格をご確認ください。
 - ・ 入学後に、入学資格を満たしていないことが判明した場合は、入学時にさかのぼって入学不許可となります。

3 年次編入学 提出書類（ 欄の書類は入学要項に同封。インターネット出願システムによる登録後、該当する書類を提出すること）

大学院修了者が本学を志願する場合は、学部の卒業証明書と成績証明書を提出してください

提出書類	入学資格	(A) (C) 他大学・短期大学卒業（見込）者	(B) 他大学中途退学（予定）者	(D) 高等専門学校卒業（見込）者	(E) 専門学校修了（見込）者 (F) 高等学校等専攻科修了者	(A) 学位授与機構により 学士の学位を授与された者	(A) (G) (H) 本学卒業生 もしくは本学離籍者	
志願書1（インターネット出願後にダウンロード・印刷できます）		○	○	○	○	○	○	
学歴・学習歴		○	○	○	○	○	○	
職務経歴		○	○	○	○	○	○	
誓約書※1		○	○	○	○	○	○	
学生証用身分証明書用写真台紙（写真1枚貼付）		○	○	○	○	○	○	
志願書2（本科生用）学科によって様式が異なります。 戸籍抄本または住民票（3カ月以内に発行されたもの） ※提出する証明書の記載氏名と現在の氏名が異なる場合は、異なる両方の氏名が記載された戸籍抄本を提出してください。住民票は個人番号（マイナンバー）を非表示にして取得してください。外国籍の方は、国籍およびローマ字（ヘボン式）表記された氏名、在留資格、在留期間が記載されたものを取得してください。記載が省略されたものは受付不可となります。		○	○	○	○	○	○	
卒業（見込）証明書※2（2年以内に発行されたもの）※5・6		○		○	○			
在籍期間証明書（または退学証明書、2年以内に発行されたもの）※3・5・6・7			○					
成績証明書（単位数と評価の記載があること、2年以内に発行されたもの）※4・5・6・7		○	○	○	○			
編入学基礎資格証明書（2年以内に発行されたもの）					○			
学位授与証明書（2年以内に発行されたもの）※7						○		
基礎資格を取得した学校の成績証明書（2年以内に発行されたもの）※6						○		
基礎資格を取得した学校の卒業証明書（2年以内に発行されたもの）※6						○		
日本語能力試験認定結果および成績に関する証明書（N2または2級以上）（2年以内に発行されたもの）		海外に居住している外国籍者						
P.8～10の事前相談回答文書		海外の学校卒業（または退学）を入学資格として出願を希望する方 障がいもしくは疾病があり、合理的配慮を希望する方						

- ※1：出願者本人の自筆、押印であること。日付を必ず記入すること。鉛筆・シャープペンシル・消せるインクのペンは不可。
- ※2：出身校で「成績・卒業証明書」1通として発行されている場合は、1通で提出してください。出願時点で卒業見込みの方は、出願時には「卒業見込証明書」を提出し、卒業日以降すみやかに卒業証明書を再度提出してください。
- ※3：「退学予定」で出願される方は前期生3/31、後期生9/30以前の日付で現在在学中の大学を退学できることが出願の条件になります。出願時には在学証明書と成績証明書を提出し、退学日付以降、在籍期間証明書と成績証明書を再度提出してください。
- ※4：「退学予定」で編入学を希望される方で、出願時点で60単位の修得を満たしていない場合は、「単位修得見込証明書」などの60単位以上を修得する見込であることが分かる書類を提出してください。退学日付以降、すみやかに成績証明書を再度提出してください。大学の指定期日までに提出できない場合、入学許可あるいは入学を取り消します。
- ※5：卒業後年数が経ち成績証明書が発行できない場合…「卒業証明書」と出身校から卒業後年数が経ち成績の保管がされていないため、成績証明書が発行不可である旨を明記した「文書保存年限のわかる文書」を証明書にしたものを発行してもらい、提出してください（出願者本人の氏名が明記されているもの）。
- ※6：法政大学卒業生および離籍者は提出不要です。
- ※7：「～通知書」等の書式は一切不可。

■ 修業年限・在学年限

修業年限	在学年限	備考
2年間	10年間	休学は通算5年間

- ・在学年限に休学期間は含まれません。
- ・学年進行に際し、進級要件があります。
- ・在学年限延長制度（12年）があります。

■ 単位認定

- ・単位認定は入学選考に併せて実施するため、事前には結果をご案内できません。
- ・編入学生の単位認定は、出願時に提出された書類をもとに原則として下記の表に従って、入学時に行います。
- ・入学前に複数の大学・短期大学などに在籍していた場合、合算した単位認定は行いません。

入学資格	本学 各学部・学科 教養課程			本学 各学部・学科 専門教育課程	本学卒業所要単位における
	一般教育科目 36単位	外国語科目 4単位のうち	保健体育科目 2単位のうち	専門教育科目 82～86単位のうち	スクーリング必要単位数 30単位のうち
(C) 短期大学卒業 (B) 他大学退学 (H) 本学通信教育課程修業不良退学者 (D) 高等専門学校卒業者(※3) (E) 専門学校修了者(※4) (F) 高等学校等専攻科修了者	内訳 一括認定 (一般教育科目 36単位) 人文分野 12単位 社会分野 12単位 自然分野 12単位	個別認定 (英・独・仏の うち1外国語4単 位以内)(※1)	個別認定 (2単位以内)	個別認定 (原則として、本学の入学を 希望する各学部・学科の1・ 2年次履修科目かつ認定対 象科目と同一科目を前籍で 修得した場合のみ認定)(※ 2)	15単位 ただし、通信制大学の 場合、15単位を上限 に前籍のスクーリン グ修得単位数を認定
高度専門士(※4)		一括認定 (4単位)	一括認定 (2単位)		
(A) 学士入学	免除	免除	免除		
(G) 本学通学課程 3年次離籍者	個別認定	個別認定	個別認定	同学部同学科へ 編入学した場合 他学部他学科へ 編入学した場合	個別認定 公開科目として 上限16単位まで

- ※1：海外大学の卒業生・退学者の場合、外国語科目はESLなど外国語として修得したもの（英・独・仏）のうち1外国語のみ認定します。通信制大学の場合、本学の卒業所要単位のうち2単位はスクーリングで修得していることが必要です。
- ※2：海外大学の卒業生・退学者・短期大学の卒業生についての専門教育科目の単位認定はありません。
- ※3：高等専門学校4・5年次生にて履修した科目のみが単位認定の対象科目になります。
- ※4：専門学校修了者の個別認定については、編入学基礎資格証明書に記載のある学習時間数を換算して認定します。

■ 入学諸経費

選考料	編入料	入学金	教育費	合計
10,000円	20,000円	30,000円	90,000円	150,000円

- ・指定市販本など、配本されない教材の購入にかかる費用およびスクーリング受講料、教職課程の科目登録料などは、入学諸経費の中に含まれていません。
- ・入学諸経費の分納はできません。出願時にご利用いただける教育ローンの詳細は通信教育部 Web サイトをご覧ください。
- ・入学辞退期限後（P.6）以降、入学年度内の半期までに退学する場合でも、納入された教育費は返金いたしません。

■ 卒業までの納付金の概算（本科生法学部に入学した場合）

		1年次	2年次	3年次	4年次	合計
3年次編入学 (修業年数2年)	選考料	—	—	10,000円	—	360,000円
	入学金	—	—	30,000円	—	
	教育費	—	—	90,000円	90,000円	
	編入料	—	—	20,000円	—	
	スクーリング受講料	8回/1回15,000円		概算…120,000円		

- ・スクーリング受講料は東京（春期・夏期・秋期・冬期・ゴールデンウィーク・週末）スクーリングの受講を想定し、1科目あたり15,000円で計算しています。
- ・修業年数を超えて在学を続ける場合は教育費（90,000円）が毎年必要です。
- ・卒業論文を提出する場合は卒業論文審査料（10,000円）が必要です。文学部は卒業論文が必修です。
- ・上記金額は、スクーリングの受講回数を増やす、またはメディア・オンライン開講科目・地方スクーリング（1科目あたり20,000円）を受講するなどの条件により変わります。
- ・上記金額は本学に納入する金額であり、指定市販本購入などの教材費・送料は別途個人負担となります。

■ 教職課程の履修

- ・教職課程の履修希望者は、必ず、通信教育部 Web サイト「教職課程」ページ（<https://www.tsukyo.hosei.ac.jp/faculty/teacher-training/>）を参照し、自身の適用法令や課程表等を確認して出願してください。
- ・単位認定した科目は、教員免許状申請の「教育の基礎的理解に関する科目」および「教科及び教科の指導法に関する科目」として本学では証明しません。なお、教員免許状申請の「その他必修科目」については、一部本学で証明できる場合があります。詳細は、入学後に教員免許状取得の手引きを確認してください。

4 年次編入学

4 年次編入学 入学資格

本学通学課程を4年次に離籍した者

- ・入学後に、入学資格を満たしていないことが判明した場合は、入学時にさかのぼって入学不許可となります。

4 年次編入学 提出書類 (欄の書類は入学要項に同封。インターネット出願システムによる登録後、該当する書類を提出すること)

提出書類	本学通学課程 4 年次離籍者
志願書 1 (インターネット出願後にダウンロード・印刷できます)	○
学歴・学習歴	○
職務経歴	○
誓約書※ 1	○
学生証用身分証明書用写真台紙 (写真 1 枚貼付)	○
志願書 2 (本科生用) 学科によって様式が異なります。	○
戸籍抄本または住民票 (3 カ月以内に発行されたもの) ※提出する証明書の記載氏名と現在の氏名が異なる場合は、異なる両方の氏名が記載された戸籍抄本を提出してください。住民票は個人番号 (マイナンバー) を非表示にして取得してください。外国籍の方は、国籍およびローマ字 (ヘボン式) 表記された氏名、在留資格、在留期間が記載されたものを取得してください。記載が省略されたものは受付不可となります。	○
P.8 ~ 10 の事前相談文書	身体または精神に障がいもしくは疾病があり、合理的配慮を希望する方

※ 1 : 出願者本人の自筆、押印であること。日付を必ず記入すること。鉛筆・シャープペンシル・消せるインクのペンは不可。

修業年限・在学年限

修業年限	在学年限	備考
1 年間	9 年間	休学は通算 5 年間

- ・在学年限に休学期間は含まれません。
- ・在学年限延長制度 (12 年) があります。

単位認定

- ・単位認定は入学選考に併せて実施するため、事前には結果をご案内できません。
- ・編入学生の単位認定は在籍時の状況に基づき、原則として下記の表に従って、入学時に行います。

	本学 各学部・学科 教養課程			本学 各学部・学科 専門教育課程		本学卒業所要単位における スクーリング必要単位数 30 単位のうち
	一般教育科目 36 単位のうち	外国語科目 4 単位のうち	保健体育科目 2 単位のうち	専門教育科目 82 ~ 86 単位のうち		
本学通学課程 4 年次離籍者	個別認定	個別認定	個別認定	同学部同学科へ 編入学した場合	個別認定	個別認定
				他学部他学科へ 編入学した場合	公開科目として 上限 16 単位まで	

入学諸経費

選考料	編入料	入学金	教育費	合計
10,000 円	20,000 円	30,000 円	90,000 円	150,000 円

- ・指定市販本など、配本されない教材の購入にかかる費用およびスクーリング受講料、教職課程の科目登録料などは、入学諸経費の中に含まれていません。
- ・入学諸経費の分納はできません。出願時にご利用いただける教育ローンの詳細は通信教育部 Web サイトをご覧ください。
- ・入学辞退期限後 (P.6) 以降、入学年度内の半期までに退学する場合でも、納入された教育費は返金いたしません。

教職課程の履修

- ・教職課程の履修希望者は、必ず、通信教育部 Web サイト「教職課程」ページ (<https://www.tsukyo.hosei.ac.jp/faculty/teacher-training/>) を参照し、自身の適用法令や課程表等を確認して出願してください。
- ・単位認定した科目は、教員免許申請の「教育の基礎的理解に関する科目」および「教科及び教科の指導法に関する科目」として本学では証明しません。なお、教員免許申請の「その他必修科目」については、一部本学で証明できる場合があります。詳細は、入学後に教員免許取得の手引きを確認してください。

2. 入学後の諸経費(本科生)

主な納入金

卒業までの納付金の概算は、P.15,P.18,P.20～21をご覧ください。

■スクーリング受講料 ※卒業所要単位を超えるスクーリング単位修得は任意です。

内訳	受講料
東京(春・夏・秋・冬・週末・ゴールデンウィーク)	15,000円×受講科目数
地方・メディア・オンライン開講科目	20,000円×受講科目数

■2年目以降の納入金

内訳	金額
教育費	90,000円(年額)

分納制度あり(45,000円×年2回)

■入学後にかかる諸経費 ※下記は例であり、任意の費用を含みます。

内訳	金額	対象者
科目登録料	3,000円×登録単位数	本科生入学で教職課程の科目を通信学習で履修する方は必要となる場合があります。
卒業論文審査料	10,000円	文学部のみ卒業論文が必修です。
現地研究費用	約30,000円～40,000円程度/1回	文学部地理学科の方は2回の履修が必須となります。
教育実習費用	30,000円	教育実習を行う場合は教育実習料24,000円、教育実習事前指導受講料6,000円が必要です。
介護等体験費	13,000円	中学校の教員免許状取得希望者は必須となります。

Webサイトには、かんたん学費シミュレーションを用意しています。

法政 通信 学費



復籍・再入学／再度の入学

過去に本学通信教育部に本科生として在籍し、途中で籍を離れた方は以下の手続きが必要です。出願手続きは、離籍理由により異なります。

本学を「除籍」になった方	復籍	1. 復籍・再入学とは 参照
本学を「退学」された方	再入学	1. 復籍・再入学とは 参照
在学年限満期で「除籍」もしくは「退学」の方	再度の入学	2. 再度の入学とは 参照
「再度の入学」後に「除籍」もしくは「退学」の方	1年次入学または 2・3年次編入学	P.15～20 参照
「修業の見込みがないと認められる者」として退学処分になった方	1年次入学または 2・3年次編入学	P.15～20 参照

1. 復籍・再入学とは

過去に本学通信教育部本科生として在籍し、途中で籍を離れた方のため手続きです。

復籍とは、学費未納除籍となった方が籍を戻すことを指します。再入学とは、退学した方が籍を戻すことを指します。

ただし、書類選考により入学の可否を決定しますので、復籍・再入学を確約するものではありません。

復籍・再入学者の履修履歴・転部転科の取り扱い

原則として、以下のとおりです。なお、科目の引き継ぎは入学選考に併せて実施するため、事前には結果をご案内できません。

- ・ 現行の教育課程表（カリキュラム表）にある科目のうち、離籍時に構成単位を満たして修得している科目は引き継がれます。
- ・ 離籍時に履修途中（レポートのみ合格または試験のみ合格など）の通信学習科目は引き継がれません。ただし、科目の構成単位を満たしていても、現行の教育課程表（カリキュラム表）にある科目のうちスクーリングで修得した単位は引き継がれます。
- ・ 復籍・再入学時に学年が2年次以上であれば、転部・転科をすることができます。ただし、前籍で履修した専門教育科目については、学部学科間の共通科目でない限り、転部・転科先で卒業所要単位に算入できません。また、転部・転科後の学年は2年次もしくは3年次になります。1年次・4年次への転部・転科はできません。
- ・ 転部・転科を伴わない復籍・再入学の場合、原則、離籍時（3月末または9月末）の学年への復籍・再入学となります。

復籍・再入学者の修業年限と在学年限

2003年度から在学年限を設けています。2003年度以降に在籍されていた年数は下記に含まれます。

入学区分	標準修業年限	在学年限	備考
1年次復籍・再入学※1	4年間	12年	休学は前籍から 通算5年間 (在学年限に休学期間は含まれません)
2年次復籍・再入学※2	3年間	11年	
3年次復籍・再入学※2	2年間	10年	
4年次再入学（進学）※2	1年間	9年	
4年次復籍・再入学（再学）※2	1年間	8年	

※1：1年次復籍・再入学の場合、2003年度以降の在学年数をさらに控除します。控除する年数が在学年限を上回る場合には、次項の「再度の入学」として取り扱います。

※2：2～4年次復籍・再入学の場合、2008年度以降の再学年数をさらに控除します。控除する年数が在学年限を上回る場合には、次項の「再度の入学」として取り扱います。

- ・ 標準修業年限とは、最低限在学する必要がある年数のことです。
- ・ 学年進行に際し、進級要件があります。
- ・ 在学年限延長制度（12年）があります。

2. 再度の入学とは

過去に**在学年限満期**で除籍もしくは退学された方のため手続きです。

再度の入学者の履修履歴・転部転科の取り扱い

- ・ 現行の教育課程表（カリキュラム表）にある科目のうち、離籍時に構成単位を満たして修得している科目は引き継がれます。
- ・ 離籍時に履修途中（レポートのみ合格または試験のみ合格など）の通信学習科目は引き継がれません。ただし、科目の構成単位を満たしていても、現行の教育課程表（カリキュラム表）にある科目のうちスクーリングで修得した単位は引き継がれます。
- ・ 志願時および、再度の入学後、卒業までの在学中に転部・転科をすることはできません。
- ・ 再度の入学は1回限りとするため、再度の入学後に再び除籍・退学し入学を希望する場合は、修得済み単位数に応じ、新たに編入学をすることになります。

再度の入学者の修業年限と在学年限

入学区分	最低修業年限	在学年限	備考
1 年次再度の入学	4 年間	12 年	休学は前籍から 通算 5 年間 (在学年限に休学期間は含まれません)
2 年次再度の入学	3 年間	12 年	
3 年次再度の入学	2 年間	12 年	
4 年次再度の入学	1 年間	12 年	

・学年進行に際し、進級要件があります。

3. 復籍・再入学／再度の入学の共通事項

- ・復籍・再入学・再度の入学を志願する方については、規程に基づいた審査を行い学年を決定します。なお、2007 年 4 月の新 1 年次生から「進級に関する規程」が適用されました。進級するためには各年次所要の単位数を修得することが必要です。
- ・在学当時の単位修得状況や在学期間が不明である場合は、出願前に成績証明書を取得し、確認してください。履修成績、当時の学年、在学期間などについて電話やメール、窓口で回答することはできません。
- ・復籍・再入学・再度の入学許可通知に、これまでの修得単位が記載された「履修・成績通知書」を同封します。
- ・カリキュラム変更により、前籍における既修得単位が卒業所要単位にならない、または取り扱いが変更になることがあります。

4. 提出書類(復籍・再入学者と再度の入学者共通事項)

(欄の書類は入学要項に同封。インターネット出願システムによる登録後、該当する書類を提出すること)

提出書類	本学離籍後に改姓改名なし	本学離籍後に改姓改名あり	外国在住の外国籍の方
志願書 1 (インターネット出願後にダウンロード・印刷できます)	○	○	○
学歴・学習歴	○	○	○
職務経歴	○	○	○
誓約書※ 1	○	○	○
学生証用身分証明書用写真台紙 (写真 1 枚貼付)	○	○	○
志願書 2 (本科生用) 学科によって様式が異なります。	○	○	○
住民票 (3 カ月以内のもの) ※提出する証明書の記載氏名と現在の氏名が異なる場合は、異なる両方の氏名が記載された戸籍抄本を提出してください。住民票は個人番号 (マイナンバー) を非表示にして取得してください。外国籍の方は、国籍およびローマ字 (ヘボン式) 表記された氏名、在留資格、在留期間が記載されたものを取得してください。記載が省略されたものは受付不可となります。	○	×	×
戸籍抄本 (3 カ月以内のもの)	×	○	×
本学通信教育部発行の成績証明書 (2 年以内のもの)	×	×	○
P.8 ~ 10 の事前相談回答文書	障がいもしくは疾病があり、合理的配慮を希望する方		

※ 1 : 出願者本人の自筆、押印であること。日付を必ず記入すること。鉛筆・シャープペンシル・消せるインクのペンは不可。

5. 入学諸経費(復籍・再入学者と再度の入学者共通事項)

選考料	復籍料・再入学金・再度の入学金	教育費	合計
10,000 円	30,000 円	90,000 円	130,000 円

- ・指定市販本など、配本がない教材の購入にかかる費用およびスクーリング受講料、教職課程の科目登録料などは入学諸経費の中には含まれていません。
- ・入学辞退期限後 (P.6) 以降、入学年度内の半期までに退学する場合でも、納入された教育費は返金いたしません。
- ・入学諸経費の分納はできません。出願時にご利用いただける教育ローンの詳細は入学案内に同封のパンフレットおよび通信教育部 Web サイトをご覧ください。

Q&A(復籍・再入学／再度の入学)

？ 3 年次に在籍していましたが、学費未納のため「除籍」になっています。1 年次に戻らなくてはなりませんか？

「復籍」手続きにより、離籍時の学年に戻って学習を再開することができます。

？ 以前に在籍していた期間の成績を知るには、どうしたらよいですか？

郵送または窓口にて「成績証明書」を申請してください。

申請方法 Web サイト : <https://www.tsukyo.hosei.ac.jp/appli/shinsei/flow/>



科目等履修生(選科生)

科目等履修生のうち、開講科目の中から「個々の目的に応じて自由に科目を選択して履修する者」を選科生とします。教員免許取得や教職課程科目の単位修得を目的とする場合は、「選科生」ではなく「教職生」または「本科生」での入学が必要となりますので、ご注意ください。

1. 入学資格・諸手続き

入学資格

高等学校卒業またはこれと同等以上の資格を有する者で、教員免許状の取得を目的としない者。ただし、本学に在籍中の者は除く。

- ・教員免許状の取得を目的とする場合は、教職生として出願してください。
- ・修得した科目については、申請により「成績証明書」を発行します。
- ・選科生で修得した単位は、その後本科生に入学しても単位の認定はありません。
- ・各種資格試験などのために受講する場合には、出願前に必ず試験の実施団体へ科目等履修生（選科生）として修得した単位でも該当資格試験の受験が可能か、ご確認ください（各種資格試験の受験可否については、本学で判断することはできません）。

受講条件

出願期について

【重要】 科目等履修生は前期、後期とも最終回は出願できません。前期1～3回、後期1・2回にのみ出願できます。

履修期間と継続

- ・履修期間は1年間です（前期生4月1日～3月31日／後期生10月1日～9月30日）。
- ・前期生が受験できる最終の単位修得試験は1月、後期生は7月となります。
- ・1年間で単位の修得ができない場合は、継続履修ができます。継続には1年ごとの手続き（継続料30,000円）が必要となります。
- ・継続の場合履修中科目の、科目登録料を追加で納入する必要はありません。

履修単位

- ・1年間の履修単位数は通信学習とスクーリングをあわせて49単位までです。1年間のスクーリングの登録単位は49単位までです。
- ・科目登録は、必要な科目・単位数すべてを入学時に申請することが可能です。
- ・入学後、履修期間中に科目を追加登録することが可能です。

入学諸経費

出願時諸経費

選考料	登録料（1年間）
10,000円	30,000円

- ・次年度以降も履修を継続する場合は継続手続き（継続料30,000円）が必要となります。

通信学習・科目登録料

科目登録料
1単位5,000円×登録単位数

入学後、通信学習科目の科目登録および科目登録料の支払いは随時可能ですが、出願書類の「科目登録票」で登録すると入学と同時に学習をはじめることができます。

※通教テキスト採用科目を登録すると、大学より後日登録科目の通教テキストと、登録科目数分のレポートノートを送付します。指定市販本採用科目を登録すると、大学より登録科目数分のレポートノートのみ送付します。指定市販本は各自購入してください。

スクーリング受講料

内訳	受講料
東京（春・夏・秋・冬・週末・ゴールデンウィーク）	15,000円×受講科目数
地方・メディア・オンライン開講科目	20,000円×受講科目数

- ・スクーリング受講料は、各スクーリングの履修申請時に指定された受講料振り込み期間に振り込みます。出願時には振り込みの必要はありません。
- ・科目等履修生がスクーリングを受講する場合には、スクーリング開講科目の一部の科目のみ受講することができます。

提出書類

() 欄の書類は、入学要項に同封。インターネット出願システムによる登録後、該当する書類を提出すること

大学院修了者が本学を志願する場合は、学部の卒業証明書と成績証明書を提出してください

提出書類	入学資格	大学院修了者が本学を志願する場合は、学部の卒業証明書と成績証明書を提出してください						
		他大学(短期大学) 卒業者	大学 中途退学者	専門学校 修了者	高等専門学校 卒業者	高等専門学校 卒業生	高等学校卒業程度 認定試験合格者	本学卒業生もしくは 中途退学者
志願書1 (インターネット出願後にダウンロード・印刷できます)		○	○	○	○	○	○	○
学歴・学習歴		○	○	○	○	○	○	○
職務経歴		○	○	○	○	○	○	○
誓約書※1		○	○	○	○	○	○	○
学生証用身分証明書用写真台紙 (写真1枚貼付)		○	○	○	○	○	○	○
志願書2 (教職生・選科生用)		○	○	○	○	○	○	○
科目登録票※2		○	○	○	○	○	○	○
戸籍抄本または住民票 (3カ月以内のもの) ※提出する証明書の記載氏名と現在の氏名が異なる場合は、異なる両方の氏名が記載された戸籍抄本を提出してください。住民票は個人番号(マイナンバー)を非表示にして取得してください。外国籍の方は、国籍およびローマ字(ヘボン式)表記された氏名、在留資格、在留期間が記載されたものを取得してください。記載が省略されたものは受付不可となります。		○	○	○	○	○	○	○
卒業(見込)証明書(2年以内に発行されたもの)※3・5		○※4		○	○			
成績証明書(2年以内に発行されたもの)※5		○※4	○	○	○			
在籍期間証明書(または退学証明書、2年以内に発行されたもの)※5			○					
出身高校調査書(2年以内に発行されたもの) ①高等学校・中等教育学校の卒業生、卒業見込者、卒業後5年まで: 出身高校・学校の調査書(開封無効) ※A3両面可 ②卒業経過年による提出証明書について(開封無効) 卒業後5年まで: 調査書 卒業後6年以上: 卒業証明書 ※在学中に留学経験がある場合、その留学先の成績証明書の提出は不要です。日本の高等学校の「調査書」は、留学期間がわかるように記載してもらってください。 ※外国の高等学校に在籍した履歴がある場合でも、最終的に日本の高等学校を卒業した場合は、外国の高等学校の成績証明書は不要です。 ※調査書に関する注意事項 ・卒業見込の出願者は2024年10月1日以降に発行された調査書に限り、また、既卒者は卒業後かつ出願日の2年以内に発行されたものに限り(卒業見込の調査書は不可)。 ・卒業見込の状態を出願し入学許可となった場合、卒業後に改めて卒業および卒業日付が記載された「調査書」の提出が必要で、提出されないと、学生証を発行できません。								
合格成績証明書(2年以内に発行されたもの) ※合格証明書および合格証書は不可							○	
日本語能力試験認定結果および成績に関する証明書(2級またはN2以上)(2年以内に発行されたもの)		海外に居住している外国籍者						
P.8～10の事前相談回答文書		海外の学校卒業(または退学)を入学資格として出願を希望する方 障がいもしくは疾病があり、合理的配慮を希望する方						

- ※1: 出願者本人の自筆、押印であること。日付を必ず記入すること。鉛筆・シャープペンシル・消せるインクのペンは不可。
- ※2: 登録科目はP.26～27の開講科目一覧より選択してください。
- ※3: 出身校で「成績・卒業証明書」1通として発行されている場合は、1通で提出してください。
- ※4: 法政大学卒業生および離籍者は提出不要です。
- ※5: 「～通知書」等の書式は一切不可。

開講科目一覧

スクーリング開講科目

- ・受講可能な科目は法政大学通信教育部Webサイト「News」に2月中旬頃より掲載しています。
- ・スクーリングは、履修申請者数によって抽選となる場合があります。
- ・カリキュラムの変更などにより、開講科目が変更になる場合があります。
- ・スクーリング受講料は、前ページを参照してください。

通信学習開講科目

- ・所属学科以外の専門科目であっても、下記の表にある科目はすべて履修可能です。
- ・カリキュラムの変更などにより、開講科目が変更になる場合があります。

選科生通信学習科目コード表

■一般教育科目

科目名	単位	科目コード
人文分野		
文学	4	01109
西洋史	4	01116
日本史	4	01117
哲学	4	01119
東洋史	4	01118
論理学	4	01115

科目名	単位	科目コード
社会分野		
法学(日本国憲法)	2	01215
法学	2	01219
経済学	4	01204
人文地理学	4	01213
自然地理学	4	01214
政治学概論	4	01206
社会学	4	01217
文化人類学	4	01211
心理学	4	01323

科目名	単位	科目コード
自然分野		
数学1	2	01311
数学2	2	01312
生物学1	2	01314
化学1	2	01317
化学2	2	01318
物理学1	2	01320
物理学2	2	01321

■外国語科目

科目名	単位	科目コード
英語 2	2	02102
英語 3	2	02103
独語 1	2	02207
仏語 1	2	02301

■保健体育科目

科目名	単位	科目コード
健康・スポーツ科学概論	2	03406

■法学部法律学科開講科目

科目名	単位	科目コード
憲法	4	14501
民法総則	4	14515
物権法	4	14516
債権総論	4	14517
債権各論	4	14518
商法総則・商行為法	4	14519
会社法	4	14520
刑法総論	4	14521
刑法各論	4	14522
民事訴訟法	4	14523
刑事訴訟法	4	14513
国際法総論	4	14524
行政法	4	14606
行政救済法	4	14533
労働法	4	14603
国際法各論	4	14525
教育法	4	14531
親族法・相続法	4	14526
民事執行法	4	14527
手形法・小切手法	4	14528
保険法・海商法	4	14529
日本法制史	4	14604
西洋法制史	4	14534
労使関係論	4	14634
刑事政策	4	14532

■文学部日本文学科開講科目

科目名	単位	科目コード
日本文芸学概論	4	24501
日本語学概論	4	24509
日本文芸史 I	4	24511
文学概論	4	24512
日本文芸史 II	4	24513
日本語史	4	24510
日本文法論	4	24503
日本芸能史	4	24514
日本美術史	4	24640
日本文芸研究特講・上代	4	24558
日本文芸研究特講・中古	4	24559
日本文芸研究特講・中世	4	24560
日本文芸研究特講・近世	4	24561
日本文芸研究特講・近代	4	24562
日本文芸研究特講・漢文	4	24565
日本文芸研究特講・現代	4	24563
日本文芸研究特講・言語	4	24564
中国文芸史	4	24608
西洋美術史	4	24603
社会思想史	4	24605
比較文学	4	24625
書道史	2	24613

※書道実技を受講希望の場合はお問い合わせください。

■文学部史学科開講科目

科目名	単位	科目コード
史学概論	4	34504
日本史概説	4	34501
西洋史概説	4	34503
東洋史概説	4	34502
日本近代史	4	34647
日本近世史	4	34618
日本古代史	4	34544
日本中世史	4	34628
日本古文書学	4	34540
日本史特講 (日本思想史)	4	34524
日本史特講 (日本仏教史)	4	34525
日本史特講 (対外関係史)	4	34513
日本史特講 (社会史)	4	34515
日本史特講 (地域社会史)	4	34514
東洋史特講 (中国思想史)	4	34529
東洋史特講 (中国近世史)	4	34530
東洋史特講 (東南アジア史)	4	34550
東洋美術史	4	34609
東洋史特講 (中国経済史)	4	34532
東洋史特講 (中国現代史)	4	34541
西洋史特講 (西洋哲学史)	4	34534
西洋史特講 (キリスト教史)	4	34535
西洋史特講 (ロシア史 I)	2	34536
西洋史特講 (ロシア史 II)	2	34542
西洋史特講 (アメリカ史)	4	34538
日本考古学	4	34601

■文学部地理学科開講科目

科目名	単位	科目コード
人文地理学概論 (1)	2	44507
自然地理学概論 (1)	2	44508
地理調査法 (人文編)	4	44636
地理調査法 (自然編)	4	44610
自然地理学概論 (2)	2	44512
地学概論	4	44603
自然地理学 (地形)	4	44607
自然地理学 (生物・土壌)	4	44619
自然地理学 (気候・気象)	4	44620
自然地理学 (海洋・陸水)	4	44618
人文地理学概論 (2)	2	44511
経済地理学	4	44699
人文地理学 (都市)	4	44617
人文地理学 (農業)	4	44704
人文地理学特講 (地域・産業・生活)	4	44613
文化地理学	4	44700
歴史地理学	4	44705
地誌学概論	4	44513
日本地誌 (1) (自然編)	4	44523
日本地誌 (2) (人文編)	4	44524
世界地誌 (1) (アジア)	4	44525
世界地誌 (2) (アメリカ・大洋州)	4	44526
世界地誌 (3) (欧・アフリカ)	4	44527
地国学	4	44514

■経済学部経済学科開講科目

科目名	単位	科目コード
社会経済学 A	2	54518
社会経済学 B	2	54519
統計学 A	2	54522
統計学 B	2	54523
経済史 A	2	54524
経済史 B	2	54525
財政学 A	2	54534
財政学 B	2	54535
経済政策論 A	2	54538
経済政策論 B	2	54539
日本経済論 A	2	54552
日本経済論 B	2	54553
民法一部 (総則・物権法)	4	54590
民法二部 (債権法)	4	54591

■経済学部商業学科開講科目

科目名	単位	科目コード
簿記 I	2	64516
簿記 II	2	64517
経営学総論 I	2	64522
経営学総論 II	2	64523
経営管理論 I	2	64524
経営管理論 II	2	64525
金融論 I	2	64530
金融論 II	2	64531
簿記 III	2	64534
簿記 IV	2	64535
人的資源管理論 I	2	64537
人的資源管理論 II	2	64538
財務会計論 I	2	64540
財務会計論 II	2	64541
原価計算論 I	2	64542
原価計算論 II	2	64543
管理会計論 I	2	64544
管理会計論 II	2	64545
監査論 I	2	64546
監査論 II	2	64547
税務会計 I	2	64548
税務会計 II	2	64549
経営分析論 I	2	64550
経営分析論 II	2	64551
国際金融論 I	2	64552
国際金融論 II	2	64553

科目等履修生(教職生)

科目等履修生のうち、「教員免許状の取得を目的として入学する者」を教職生とします。必ず、通信教育部 Web サイトより「教職課程について(入学要項別紙)」(<https://www.tsukyo.hosei.ac.jp/common/doc/faculty/teacher-training/guide.pdf>)を参照し、自身の適用法令や課程表等を確認して出願してください。



1. 入学資格・諸手続き

【重要】 科目等履修生は前期、後期とも最終回は出願できません。前期 1～3 回、後期 1・2 回にのみ出願できます。

入学資格

教員免許状の取得を目的として入学を希望し、下記①②のいずれかに該当する者。ただし本学に在籍中の者は除く。

- ①法政大学の学部卒業生(大学院は除く)
 - ②他大学卒業生のうち「教育実習」「教職実践演習」「介護等体験(中学校免許希望者のみ)」を修了しており、かつ本学に課程認定がある教科の取得希望者であること
- ※免許状の課程認定は学部・学科でなされているため、入学に際しては1つの学部・学科を選択することになります。各学部・学科で取得できる教員免許状については通信教育部 Web サイトをご確認ください。

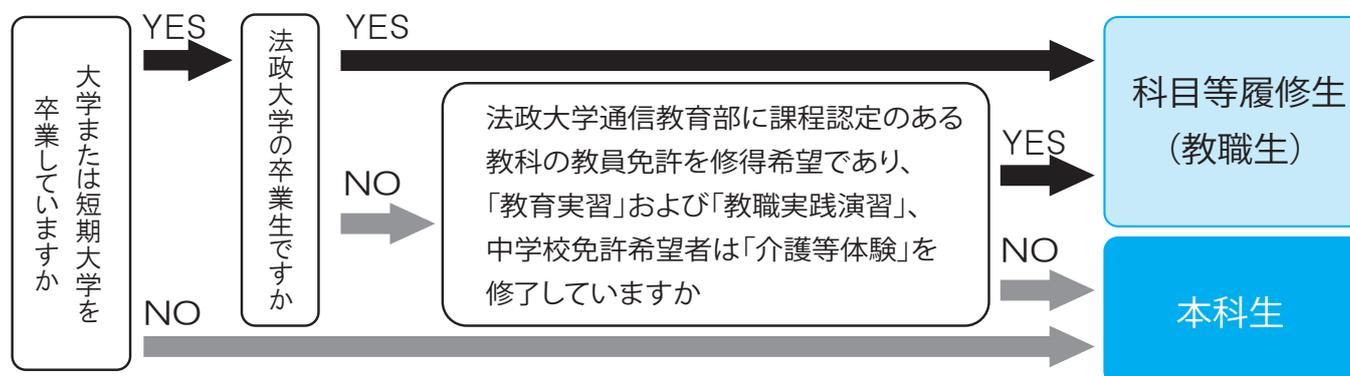
表 1: 本学で受入れる「教職生」

(1) 不足科目修得希望者 P.31	大学または短期大学を卒業し、「教育実習」(および中学校免許希望者は「介護等体験」)を修了している方で、前学での未修得科目の修得希望者※ (根拠規定: 免許法第 5 条別表第 1)
(2) 他教科免許状取得希望者 P.31	中学・高校の教員免許状所有者で、他教科の免許状取得希望者 (根拠規定: 免許法第 6 条別表第 4)
(3) 上級免許状取得希望者 P.32	現職教員で、上級免許状取得希望者 (根拠規定: 免許法第 6 条別表第 3)
(4) 実習教諭免許状取得希望者 P.32	現職の実習助手で、実習教諭(高校)免許状取得希望者 (根拠規定: 免許法第 6 条別表第 3)
(5) 隣接校種免許状取得希望者 P.32	3年の教職経験が評価される現職教員で、隣接校種免許状取得希望者 (根拠規定: 免許法第 6 条別表第 8)

※法政大学学部卒業生(通学課程含む)は「教育実習」(および中学校免許希望者は「介護等体験」)を修了していない場合も教職生としての出願が可能です。

入学コース

最終学歴および修得科目によって、入学すべきコースが異なります。



科目等履修生

受講条件

履修期間と継続

- ・履修期間は1年間です。(前期生4月1日～3月31日／後期生10月1日～9月30日)
前期生が受験できる最終の単位修得試験は1月、後期生は7月となります。1年間で単位の修得ができない場合は、継続履修ができます。継続には1年ごとの手続き(継続料30,000円)が必要となります。継続の場合履修中の科目の、科目登録料を再度納入する必要はありません。
- ・所属学科のカリキュラムなどの変更により、修得する科目・単位数が変動する場合があります。
- ・スクーリングは、開講科目によっては受講が抽選となる場合があります。

履修単位

- ・1年間の履修単位数は通信学習とスクーリングをあわせて49単位まで、1年間に登録できるスクーリング単位は49単位までです。
- ・教職生は通信学習で単位修得することが基本となります。教職関係の科目がすべてスクーリングで開講されるわけではありません。また、スクーリングは年度によって開講される科目が異なります。
- ・科目登録は、必要な科目・単位数すべてを入学時に申請することが可能です。
- ・入学後、履修期間の途中で科目を追加登録することが可能です。



教員免許状の授与権者は、大学ではなく都道府県の教育委員会です。

単位を修得し終えた段階で免許状授与の個人申請をする際、不足単位や科目の取り間違い、適用法令違いなどによって免許状が授与されない、ということのないよう十分注意のうえ登録してください。

- ・P.28「1.入学資格・諸手続き」表1 [\(1\)教育職員免許法第5条別表第1](#)に基づき教員免許の取得を希望する方は、必ず [出身大学にて](#)教育職員免許法上の不足区分や不足単位数について指導を受け、本学で修得すべき科目区分や単位数を確認してください。
 - ・P.28「1.入学資格・諸手続き」表1 (2)～(5)の方法で教員免許の取得を希望する方は、[免許状の授与を受けようとする都道府県教育委員会\(現職教員の方は学校所在地の都道府県教育委員会\)](#)で適用条文および不足の科目区分や単位数について必ず確認してください。
- ※教育委員会への確認は日程に余裕を持って行ってください。
※事前に教育委員会のホームページを必ず確認してください。

入学諸経費

出願時諸経費

選考料	登録料(1年間)
10,000円	30,000円

・次年度以降も履修を継続する場合は継続手続き(継続料30,000円)が必要となります。

通信学習・科目登録料

科目登録料
1単位5,000円×登録単位数

入学後、通信学習科目の科目登録および科目登録料の支払いは随時可能ですが、出願書類の「科目登録票」で登録すると入学と同時に学習をはじめることができます。

※通教テキスト採用科目を登録すると大学より後日登録科目の通教テキストと登録科目数分のレポートノートを送付します。指定市販本採用科目を登録すると、大学より登録科目数分のレポートノートのみ送付します。指定市販本は各自購入してください。

スクーリング受講料

内訳	受講料
東京(春・夏・秋・冬・週末・ゴールデンウィーク)	15,000円×受講科目数
地方・メディア・オンライン開講科目	20,000円×受講科目数

「教科及び教科の指導法に関する科目」は一部科目を除きスクーリング不要です!

- ・スクーリング受講料は、各スクーリングの履修申請時に指定された受講料振り込み期間に振り込みます。出願時には振り込みの必要はありません。
- ・科目等履修生がスクーリングを受講する場合には、スクーリング開講科目の一部の科目のみ受講することができます。

提出書類

(欄の書類は入学要項に同封。インターネット出願システムによる登録後、該当する書類を提出すること)

※入学資格は P.28 を参照

提出書類	入学資格 (※)	1. 不足科目 修得希望者	2. 他教科免許状 取得希望者	3. 上級免許状 取得希望者	4. 実習教諭免許状 取得希望者	5. 隣接校種免許状 取得希望者
志願書 1 (インターネット出願後にダウンロード・印刷できます)		○	○	○	○	○
学歴・学習歴		○	○	○	○	○
職務経歴		○	○	○	○	○
誓約書※ 1		○	○	○	○	○
学生証用身分証明書用写真台紙 (写真 1 枚貼付)		○	○	○	○	○
志願書 2 (教職生・選科生用)		○	○	○	○	○
科目登録票※ 2		○	○	○	○	○
戸籍抄本または住民票 (3 カ月以内のもの) ※提出する証明書の記載氏名と現在の氏名が異なる場合は、異なる両方の氏名が記載された戸籍抄本を提出してください。住民票は個人番号 (マイナンバー) を非表示にして取得してください。外国籍の方は、国籍およびローマ字 (ヘボン式) 表記された氏名、在留資格、在留期間が記載されたものを取得してください。記載が省略されたものは受付不可となります。		○	○	○	○	○
卒業 (見込) 証明書 (2 年以内のもの) ※ 3・8・9		○	○	○	○	○
成績証明書 (2 年以内のもの) ※ 4・8・9		○	○	○	○	○
学力に関する証明書 (取得希望免許教科用、2 年以内のもの)		○※ 5・6・7	○※ 5・6・7	○※ 5		○※ 5・6・7
勤務証明書 (3 カ月以内のもの)				○	○	○
所有する教員免許状コピーまたは授与証明書				○	○	○
日本語能力試験認定結果および成績に関する証明書 (2 級または N2 以上) (2 年以内のもの)	海外に居住している外国籍者					
P.8 ~ 10 の事前相談回答文書	海外の学校卒業 (または退学) を入学資格として出願を希望する方 障がいもしくは疾病があり、合理的配慮を希望する方					

- ※ 1: 出願者本人の自筆、押印であること。日付を必ず記入すること。鉛筆・シャープペンシル・消せるインクのペンは不可。
 - ※ 2: 事前に出身大学や免許状の授与を受けようとする都道府県教育委員会で履修指導を受け、必ずその内容を科目登録票にもれなく記入してください (P.29 中段の注意事項もご確認ください)。
 - ※ 3: 出身校で「成績・卒業証明書」1 通として発行されている場合は、1 通で提出してください。大学院修了者が本学を志願する場合は、学部の卒業証明書を提出してください。
 - ※ 4: 複数の学校・複数の課程で教職の単位を修得した場合には、すべての学校・すべての課程の成績証明書を提出してください (科目等履修生を含む)。出身校で「成績・卒業証明書」1 通として発行されている場合は、1 通で提出してください。
 - ※ 5: 必ず取得を希望する教科の証明書を提出してください。複数の学校・複数の課程で教職の単位を修得した場合には、すべての学校・すべての課程 (科目等履修生を含む) の学力に関する証明書 (希望教科用) を提出してください。また、教育実習単位修得の確認を行いますので、取得希望教科の証明書に教育実習単位の修得が記載されていない場合、記載されている証明書も追加で提出してください。
- 【注意】
- ・通信教育部 Web サイトにて適用法令を確認し、新法 (平成 28 年改正法) 適用者は、新法の学力に関する証明書、旧法 (平成 10 年改正法) 適用者は、旧法の学力に関する証明書を提出してください。
 - ※ 6: ご出身の大学・短期大学の学部学科で取得希望教科の課程認定がない場合は、取得されている教員免許状のコピーまたは授与証明書 (原本) を提出してください。
 - ※ 7: 上記※ 5、※ 6 が両方とも発行できない場合は、現在取得している教科の「学力に関する証明書」もしくは「教員免許状取得見込証明書」を提出してください。
 - ※ 8: 法政大学卒業者は提出不要です (過去に法政大学で教職の単位を修得した場合、法政大学発行の「学力に関する証明書 (希望教科用)」の提出は必要です。学力に関する証明書の発行には時間を要するため、日程に余裕をもって申請してください)。
 - ※ 9: 「～通知書」等の書式は一切不可。

科目等履修生

課程表一覧

通信教育部 Web サイトから課程表を参照し、科目を確認してください。

2. 目的別の受講資格

不足科目修得希望者（根拠規定：免許法第5条別表第1）

<受講資格>

- ・大学または短期大学において、教職課程を履修しながら免許状取得に必要な科目・単位を残して卒業した方が対象となります。
- ・他大学・短期大学卒業者で教育実習や教職実践演習、介護等体験の履修を希望する方は、本科生3年次に編入学してください（ただし本学卒業生は教職生として教育実習や教職実践演習、介護等体験の履修が可能）。

・出身大学や短期大学でご自身の適用法令（新法（平成28年改正法）または旧法（平成10年改正法））（※）に対応した「学力に関する証明書」を交付してもらい、出身大学にて免許状取得に不足している科目区分（免許法上の科目名）と不足単位の確認・履修指導を受けてから出願してください。

・他大学・短期大学で修得した単位は本学で修得した単位としては認定していません。

※2019年3月末日から現在まで、いずれかの大学（短期大学を除く）に在籍している方が間を空けずに本学通信教育部に入学する場合は、旧法（平成10年改正法）での免許取得が可能な場合があります。免許状の授与を受けようとする都道府県教育委員会で確認してください。

他教科免許状取得希望者（根拠規定：免許法第6条別表第4）

中学校または高等学校の教員免許状をすでに所有している方が、その免許状を基礎資格として、表2に示した免許状を取得する方法です。

<受講資格> 表2の基礎となる教員免許状をすでに所有していること。

・出身大学や短期大学でご自身の適用法令（新法（平成28年改正法）または旧法（平成10年改正法））に対応した「学力に関する証明書」を交付してもらい、免許状の授与を受けようとする都道府県教育委員会（現職教員の方は学校所在地の都道府県教育委員会）で免許状取得に不足している科目区分（免許法上の科目名）と不足単位の確認をしてから出願してください。

・他大学・短期大学で修得した単位は本学で修得した単位としては認定していません。

※2019年3月末日から現在まで、いずれかの大学（短期大学を除く）に在籍している方が間を空けずに本学通信教育部に入学する場合は、旧法（平成10年改正法）での免許取得が可能な場合があります。免許状の授与を受けようとする都道府県教育委員会で確認してください。

表2：別表第4を根拠に本学で取得できる免許状

基礎となる免許状	取得できる免許状
中学校二種免許状	中学校二種免許状（国語、社会）
中学校一種、専修免許状	中学校一種免許状（国語、社会）
高等学校一種、専修免許状	高等学校一種免許状（国語、商業、地理歴史、公民）

・基礎となる免許状と取得できる免許状との関係は、表2に示した矢印方向の関係のみ成り立ちます。したがって、中学校の免許状を基礎にして高等学校の免許状を取得することはできません。同様に高等学校の免許状を基礎に中学校の免許状を取得することもできません。

・他教科免許状取得のための法定最低修得単位数は、表3の左側のとおりですが、本学では必修科目の設定上、表3の右側の単位修得を必要とします。

表 3：他教科免許状取得のための法定最低修得単位数および本学最低修得単位数

免許状の種類	法定最低修得単位数		本学最低修得単位数		
	教科に関する科目	各教科の指導法		教科に関する科目	各教科の指導法
中学校一種	20	8	中学校一種および二種 国語	22	8
			中学校一種および二種 社会	36(30)	8
高等学校一種	20	4	高等学校一種国語	20	4
			高等学校一種商業	20	4
			高等学校一種地理歴史	24(20)	4
			高等学校一種公民	20	4

教職の課程表は通信教育部 Web サイトの課程表で確認してください。

- ・中学校・国語に必要な「書道実技」については通信教育部 Web サイトの課程表で履修方法を確認してください。
- ・中学校一種および二種社会、高等学校一種地理歴史について史学科・地理学科の教職生として入学した場合に限り、() 内の単位数で免許状を取得できる場合があります。詳細は通信教育部 Web サイトの課程表で確認してください。

上級免許状取得希望者（根拠規定：免許法第 6 条別表第 3）

<受講資格> 現在所有している教員免許状による当該教科の担当実務年数を資格にして、上級免許状の取得を希望されている方。本学では、実務年数 3 年以上の現職教員を対象とします。

- ・実務年数による最低修得単位数および修得すべき科目区分については、各自で在職する学校所在地の都道府県教育委員会の確認を必ず受けたうえで出願してください。

実習教諭免許状（高等学校）取得希望者（根拠規定：免許法第 6 条別表第 3）

<受講資格> 現高等学校の実習助手で、当該実習教科の高等学校一種免許状の修得を希望する方。本学では、現職の実習助手を対象とします。

- ・実務年数による最低修得単位数および修得すべき科目区分については、在職年数と修得単位により異なりますので、各自で在職する学校所在地の都道府県教育委員会の確認を必ず受けたうえで出願してください。

隣接校種免許状取得希望者（根拠規定：免許法第 6 条別表第 8）

<受講資格> 3 年の教職経験により良好な勤務成績を証明された現職の教員で、隣接校種の免許状取得を希望する方。本学では、現職の教員を対象とします。

- ・実務年数による最低修得単位数および修得すべき科目区分については、各自で在職する学校所在地の都道府県教育委員会の確認を必ず受けたうえで出願してください。

アドミッション・ポリシー(学生の受け入れ方針)

法学部

「社会に開かれた大学」として、高等教育の門戸を広く開放することは、通信教育課程の使命である。このことを基本としつつ、法律学科では、以下の人材を受け入れる。

1. 学士課程教育を受けるにふさわしい基礎的な学力と学修意欲を備えている
2. 国内外におけるさまざまな問題への持続的な関心を持ち、問題を解決しようとする意欲がある
3. 向学心、自発性、創造性に優れている

出願書類（および必要な場合には面接）によって、基礎的な学力と学修意欲、社会問題への関心と問題解決への意欲、向学心・自発性・創造性を評価する。

文学部

日本文学科

日本文学科では、その目的に基づいた教育目標を達成するために、日本の文学・言語・芸能について関心をもつ者を広く受け入れる。ただし、通信教育課程においては、自宅で専門的な学習ができるだけの学力が不可欠である。その適性・能力等を見極めるために、書類審査を中心とする適切な入学選考を行う。加えて、通信教育課程が情報化の進む 21 世紀社会に対応して、生涯学習教育の担い手となっていることを考慮し、自宅学習を継続できる意志と主体的に学ぼうとする意欲も重要な選考基準とする。

史学科

史学科（通信教育課程）の入学受入れ方針は、その教育理念・目標に基づき、多様な資質・能力の可能性をもった学生の入学に期待をかけ、そのうえで歴史学的な思考方法の習得を目指す意志のある者を通信教育課程の入学者として認めている。また、編入学・転入学も認めており、さまざまな経路から学生を集めているが、それは学生相互に良い影響を及ぼしており、今後もこの方針を継続する予定である。

地理学科

地理学科は、書類審査を通して、以下に示すような能力・意欲等を有する者の入学を認める。

1. 高等学校で履修する国語、外国語、地理、歴史、公民、数学、理科等について、卒業が認められる水準で教科内容を理解している。
2. 入学後の学修・研究に必要とされる基礎的な知識・教養を有している。
3. 論理的な思考ができ、自分の考えを明快に表現することができる。
4. 地理学科の専門分野に深い関心を持ち、強い学習意欲がある。

経済学部

経済学科

「社会に開かれた大学」として、高等教育の門戸を広く開放する。学ぶ意欲のある幅広い年齢層に対し、「いつでも、どこでも」学べる環境を整備する。

高等教育機関であることを前提として、学問に真摯に取り組み、生涯学習社会にあって、自己の知識や能力を社会に還元する意欲をもった人材を受け入れる。

求める人材像は、次の通りである。

1. 知識・理解、技能 [API]
 - (1) 高等学校で学んだ主要教科・科目について、教科書レベルの知識をもっている。
 - (2) 自身の考えを日本語で他者にわかりやすく文章表現することができる。
 2. 思考力・判断力・表現力 [APII]
 - (1) 課題解決のために知識・技能を多面的、総合的に活用できる。
 - (2) その考察をまとめることができる。
 3. 関心・意欲・態度 [APIII]
 - (1) 世の中の現状を経済という観点から考えることに関心を持ち、それを学修や行動に移すことができる。
 - (2) 知的好奇心をもって、入学までに培った基礎学力をさらに広げ・深めていこうとする向上心をもっている。
 - (3) 経済学を中心に、政策、法律、歴史、科学、思想、文学、言語などの幅広い分野にわたる教養を身に付け、それらを経済学の専門知識と結びつけて自分の世界を広げていく。
 - (4) 論理的思考を修得しようとする。
 - (5) スポーツ、文化的活動、ボランティア活動、資格取得など、大学内外、国内外における学びのフィールドを有機的に結び付けて、自分の学びをデザインしていく行動力をもっている。
 - (6) 高い倫理観をもっている。
 - (7) 生涯にわたって学び続ける意欲を持っている。
- 出願書類および、場合によっては面接によって、「1. 知識・理解、技能」、「2. 思考力・判断力・表現力」、そして、「3. 関心・意欲・態度」の3つのカテゴリについて、すべての力を総合的に評価する。

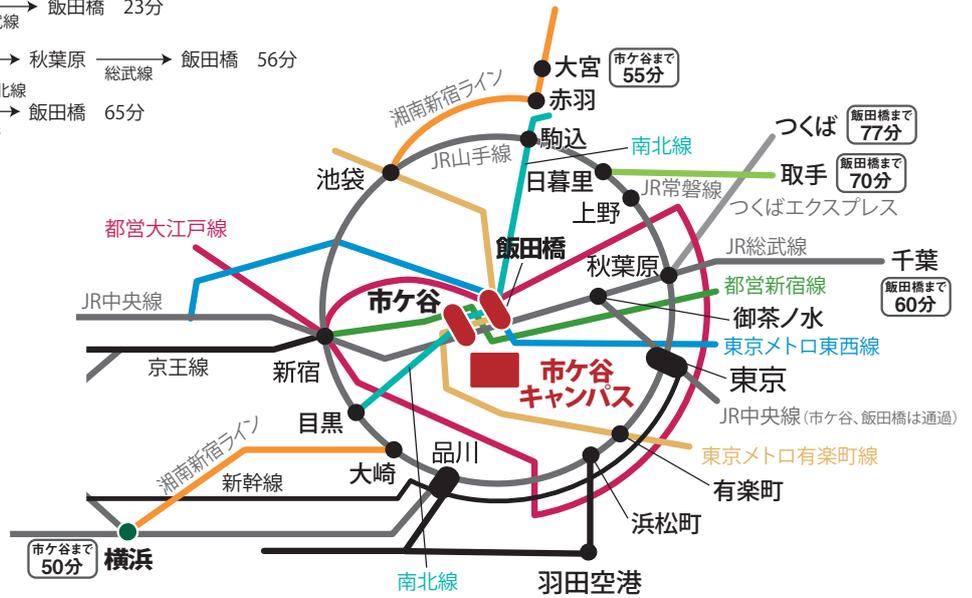
商業学科

「社会に開かれた大学」として、高等教育の門戸を広く開放することは、通信教育課程の使命であると言える。このため、学ぶ意欲のある幅広い年齢層に対し、「いつでも、どこでも」学ぶことが出来る環境を整備することが必要である。その上で、高等教育機関であることを大前提として、学問に真摯に取り組み、生涯学習社会にあって、自己の知識や能力を社会に還元する意欲を持った人材を受け入れることを基本方針としている。

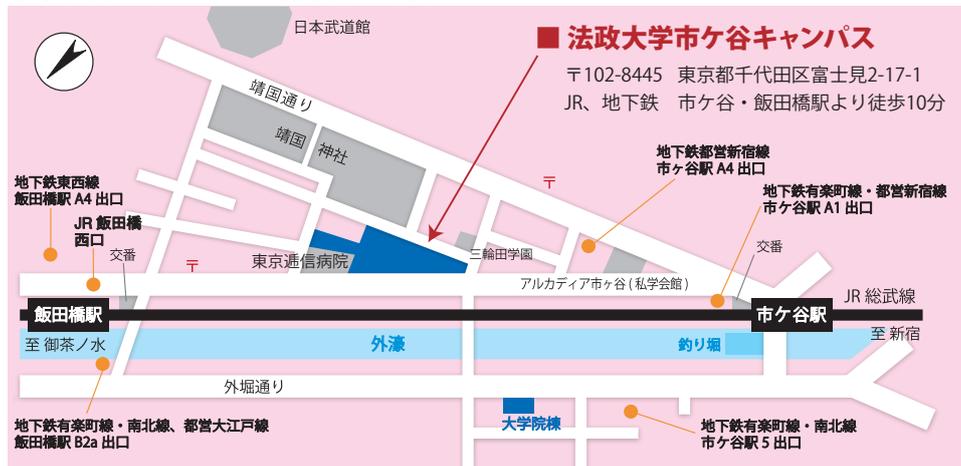
交通のご案内

- 【東京駅より】 JR東京駅 → 御茶ノ水 → 飯田橋 23分
- 【羽田空港より】 羽田空港 → 浜松町 → 秋葉原 → 飯田橋 56分
- 羽田空港 → 浅草橋 → 飯田橋 65分

※乗車時間は目安です



●市ヶ谷キャンパスの最寄駅と所在地



市ヶ谷キャンパスMAP

通信教育部事務室:大内山校舎 3F



2025年度 都道府県別単位修得試験実施一覧(予定)

地域	都道府県	都市	実施月								
			4月	5月	6月	7月	10月	11月	12月	1月	
北海道	北海道	釧路				○				○	
		帯広	○				○			○	
		旭川		○		○		○		○	
		札幌	○	○	○	○	○	○	○	○	
		函館			○					○	
東北	青森	青森		○		○	○		○		
		盛岡	○			○		○			
	岩手	一関			○				○		
		仙台	○	○	○	○	○	○	○		
	秋田		○		○				○		
	山形			○		○			○		
関東	福島	郡山		○		○		○			
		水戸			○				○		
	栃木	宇都宮				○		○			
	群馬	高崎	○				○		○		
	東京	市ヶ谷キャンパス	○	○	○	○	○	○	○		
中部	新潟	新潟	○			○	○		○		
		長岡			○				○		
	富山	富山	○			○			○		
	石川	金沢		○	○		○		○		
	福井	福井			○				○		
	山梨	甲府				○		○		○	
		長野		○			○			○	
	長野	松本	○		○			○		○	
		岐阜	岐阜				○			○	
	静岡	静岡		○					○		
愛知	名古屋	○	○	○	○	○	○	○			
三重	津				○				○		

地域	都道府県	都市	実施月								
			4月	5月	6月	7月	10月	11月	12月	1月	
近畿	滋賀	大津								○	
		京都		○							○
	大阪	大阪	○	○	○	○	○	○	○	○	
		兵庫			○					○	
	奈良	奈良				○				○	
		和歌山	和歌山			○					○
中国	鳥取	鳥取	○							○	
		島根		○						○	
	岡山	岡山			○				○		
	広島	広島		○		○	○			○	
	山口	山口			○				○	○	
四国	徳島	徳島		○						○	
		香川	高松	○				○		○	
	愛媛	松山		○		○				○	
		高知	高知			○			○		
九州	福岡	福岡	○	○	○	○	○	○	○		
		佐賀		○		○		○		○	
	長崎	長崎	○		○		○		○		
		熊本		○	○					○	
	大分	大分	○			○			○		
		宮崎		○	○				○	○	
沖縄	沖縄	鹿兒島	○			○	○		○		
		那覇	○			○		○		○	

東京会場は法政大学市ヶ谷キャンパスのみです。
 神奈川県・埼玉県・千葉県では実施しません。
 6月、7月、12月、1月はメディアスクーリング試験も実施します。
 実施都市や実施月は、変更となる場合があります。

2025年度 各スクーリング日程一覧(予定)

スクーリング	日程	場所	『法政通信』掲載号
前期メディアスクーリング	4月7日(月)～7月23日(水)	自宅などのPC	2月号
春期スクーリング	4月7日(月)～7月23日(水)	市ヶ谷キャンパス	3、4月号
ゴールデンウィークスクーリング	5月3日(土)～5月5日(月)	市ヶ谷キャンパス	3月号
【地方】大阪市スクーリング	5月16日(金)～5月18日(日)	大阪市の指定会場	3月号
【地方】仙台市スクーリング	6月13日(金)～6月15日(日)	仙台市の指定会場	4月号
前期週末スクーリング	6月22日(日)、6月29日(日)、7月6日(日)	市ヶ谷キャンパス	4月号
夏期スクーリング	1群 7月24日(木)～7月30日(水)〈注〉	自宅などのPC	5月号
	2群 7月31日(木)～8月6日(水)〈注〉	市ヶ谷キャンパス	
	3群 8月7日(木)～8月9日(土)		
秋期スクーリング	9月18日(木)～2026年1月19日(月)	市ヶ谷キャンパス	7・8月号
後期メディアスクーリング	10月1日(水)～2026年1月19日(月)	自宅などのPC	7・8月号
【地方】札幌市スクーリング	10月11日(土)～10月13日(月)	札幌市の指定会場	7・8月号
【地方】名古屋市スクーリング	11月1日(土)～11月3日(月)	名古屋市の指定会場	7・8月号
後期週末スクーリング	11月16日(日)、11月23日(日)、11月30日(日)	自宅などのPC	9月号
【地方】福岡市スクーリング	12月5日(金)～12月7日(日)	福岡市の指定会場	10・11月号
冬期スクーリング	1群 2026年1月20日(火)～1月26日(月)〈注〉	自宅などのPC	10・11月号
	2群 2026年1月27日(火)～2月2日(月)〈注〉	市ヶ谷キャンパス	

※2025年度のスクーリング開講科目は、『法政通信』3月号および法政大学通信教育部 Web サイト「News」に掲載します。

※スクーリングは、履修申請者数によって、抽選となる場合があります。

〈注〉期間中の日曜日を除く。

お問い合わせ先

法政大学通信教育部

E-mail: tsukyo_app@ml.hosei.ac.jp (入学選考担当)

※「hosei.ac.jp」からのメールに対し受信許可設定してください。